

三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成29年度実施分)

平成30年9月
三郷町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、平成29年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ、報告いたします。

平成30年9月4日

三郷町教育委員会

教育長	池田 朝博
教育長職務代理者	鶴丸 浩
委員	芝崎 善彦
委員	澤 美穂
委員	窪内 真一

目 次

I	点検・評価の概要	1
II	町教育委員会の活動状況	2
III	施策及び事業の点検・評価	5
1.	三郷町教育大綱との対応関係	6
2.	平成29年度主要事業と主な内容	7
3.	点検・評価項目	
①	学校施設の整備	8
②	教職員研修の充実	10
③	就園・就学の支援	12
④	特別支援教育の推進	14
⑤	情報・国際教育の推進	16
⑥	いじめ・不登校の対策	18
⑦	地域の教育力の向上	20
⑧	安全・安心の学校づくり	22
⑨	学校給食体制の整備	24
⑩	幼児教育の充実	26
⑪	放課後児童クラブの充実	28
⑫	生涯学習の推進	30
⑬	青少年の健全育成	32
⑭	人権教育・啓発の推進	34
⑮	文化センターの充実	36
⑯	文化活動への支援	38
⑰	図書館の充実	40
⑱	文化財の保護と活用	42
⑲	生涯スポーツの推進	44
⑳	スポーツ施設の整備	46
IV	学識経験者の知見の活用	48

I 点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は平成29年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、平成29年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの柱のもとに設定した21の項目に沿って20の点検評価項目を定め、事務事業ごとの平成29年度実績を検証し、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価にあたっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者から指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
かなやま のりまさ 金山 憲正	奈良学園大学 副学長 (人間教育学部 教授)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名	備考
教育長	池田朝博	
教育長職務代理者	鶴丸浩	
委員	芝崎善彦	
委員	澤美穂	
委員	窪内真一	

2. 教育委員会議の開催状況

- ①定例会・・・12回
- ②臨時会・・・1回

3. 教育委員会議の審議状況

- ①審議事項・・・23件
- ②報告事項・・・14件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、平成29年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については「議案」として、その他の報告事項については「報告」に分類し、記載しています。

4. 教育委員の活動状況

- ①学校(園)計画訪問実施(年1回)
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校
- ②小中学校教諭との意見交換会(年1回)
小学校2校・中学校1校
- ③各小中学校・幼稚園PTA役員との意見交換会(年1回)
- ④学校行事への参加
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ⑤各種会議、行事、研修会等への参加
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年育成各種会議、不登校対策連絡会、各種研修・研究大会、成人式等

平成29年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	平成29年 第4回定例教育委員会	開会日	平成29年4月17日(月)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教職員の人事異動について ・生駒郡教育長会について ・生駒郡地教委連絡協議会について ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第5回定例教育委員会	開会日	平成29年5月16日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・三郷町保育料等徴収条例の一部改正について ・三郷町文化スポーツ活動事業助成金交付要綱の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度町立学校(園)計画訪問の実施日程について ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第6回定例教育委員会	開会日	平成29年6月13日(火)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・財産の取得について(電子黒板等(三郷小学校)) ・財産の取得について(タブレットPC等(三郷町立学校)) ・学校評議員報告について ・給食費の滞納状況について ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第7回定例教育委員会	開会日	平成29年7月24日(月)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第8回定例教育委員会	開会日	平成29年8月22日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成28年度実施分)について ・平成30年度使用小学校道徳教科書の採択について ・三郷町学校給食集団食中毒緊急対策本部役員の委嘱及び任命について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度三郷町立南畑幼稚園園児募集要項について ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第9回定例教育委員会	開会日	平成29年9月26日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱及び任命について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年第3回(9月)三郷町議会定例会について ・平成28年度図書館の利用状況について ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第10回定例教育委員会	開会日	平成29年10月16日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度町立学校(園)計画訪問の日程について ・各課別報告 		

会 議	平成29年 第11回定例教育委員会	開会日	平成29年11月14日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化センターの指定管理者の指定について ・三郷町スポーツセンター及び三郷町ウォーターパークの指定管理者の指定について ・三郷町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第12回定例教育委員会	開会日	平成29年12月18日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷町児童生徒就学援助要綱の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第1回定例教育委員会	開会日	平成30年1月15日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度卒業(園)式及び平成30年度入学(園)式について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第2回定例教育委員会	開会日	平成30年2月23日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について ・三郷町放課後児童クラブ条例の一部改正について ・三郷町文化センター条例施行規則の一部改正について ・三郷町学校給食費の不納欠損処分要綱の制定について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成30年 第1回臨時教育委員会	開会日	平成30年3月15日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局臨時職員の訓告処分について 		
会 議	平成30年 第3回定例教育委員会	開会日	平成30年3月20日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱について ・三郷町心身障害児就学指導に係る専決処分について ・平成30年度町立学校(園)の教育課程について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		

Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

点検及び評価にあたっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町教育大綱」の施策体系に沿って、次頁の表のとおり20の「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法及び結果について、PDCAサイクル(※)に従い、詳細に記載するとともに、成果指標と決算額を示し、成果とコストを明確にするようにしています。

また、国や県の補助事業については、その内容や額等を明記しています。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、「1. 基本事項」「2. 事業概要・目的」「3. 事業実績・結果」「4. 点検評価・課題」「5. 改善方法・結果」「6. 今後の計画・方向性」に分類しています。

【基本事項】

→施策の名称、担当課、教育大綱との相関性及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、平成29年度実績です。（「◎」については、補助事業を示します。）

【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。

また、課題については、継続的な課題とともに、平成29年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果並びに新たな課題に対する改善方法などについて記載しています。

【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

※PDCAサイクル

計画 (PLAN) → 実行 (DO) → 点検 (CHECK) → 見直し (ACTION) の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

【三郷町教育大綱との対応関係】

<教育大綱 基本目標>

I 「子育てなら三郷町」

若い人が住んでよかったと思えるまちを目指して、安心して子どもを産み、育てられるまちづくりのため、保健事業や食育の推進、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスなど子育て支援の充実を図ります。

II 「教育なら三郷町」

まち全体で子どもたちの成長を応援するため、学校と地域の連携を深めながら、地域における学習や世代間交流の場づくり、自然や歴史など周辺環境を活かした学校づくりを目指します。

III 「住み続けるなら三郷町」

生涯成長する「学び」の姿勢と心豊かなふれあいを通じて、子どもからお年寄りまですべての人が、いきいきと生きがいをもって暮らすことのできる活力ある地域づくりを進めます。

基本目標	基本施策	点検・評価項目頁
I 「子育てなら三郷町」	・放課後児童クラブの充実	P29
	・幼児教育の充実	P27
	・就園・就学の支援	P13
II 「教育なら三郷町」	・学校施設の整備	P 9
	・教職員研修の充実	P11
	・特別支援教育の推進	P15
	・情報・国際教育の推進	P17
	・いじめ・不登校の対策	P19
	・安全・安心の学校づくり	P23
	・地域の教育力の向上	P21
	・学校給食体制の整備	P25
	・学校ICT教育の推進	P17
III 「住み続けるなら三郷町」	・生涯学習の推進	P31
	・青少年の健全育成	P33
	・人権教育・啓発の推進	P35
	・文化センターの充実	P37
	・文化活動への支援	P39
	・図書館の充実	P41
	・文化財の保護と活用	P43
	・生涯スポーツの推進	P45
・スポーツ施設の整備	P47	

平成29年度主要事業と主な内容

点検・評価項目	主要事業及び内容
①学校施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事
	①三郷中学校建替工事等
	②三郷小学校トイレ改修工事等
	③三郷北小学校自転車置き場取替工事等
②教職員研修の充実	・小中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
③就園・就学の支援	・小中学校就学援助、幼稚園就園奨励、育英振興助成金
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣
	①ICT教育機器整備(平成28年度～平成30年度)
	②ICT支援員の配置
⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談
⑦地域の教育力の向上	・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育の推進
	①「教育ファーム実践事業」(地産地消)の推進
	②食物アレルギー対応の徹底
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援
⑪放課後児童クラブの充実	・放課後児童クラブの運営
⑫生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営
⑬青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、ふれあいのつどい、教育講演会、成人式
⑭人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談
⑮文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援
	・施設整備、指定管理
	①文化センター配電機器取替工事
	②文化センター排煙ダンパー取替
	③指定管理者の指定(平成30年度～平成32年度)
⑯文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
⑰図書館の充実	・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進
⑱文化財の保護と活用	・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供
	①龍田古道案内板設置
⑲生涯スポーツの推進	・スポーツの推進、軽スポーツ事業
⑳スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理
	①ウォータパーク施設改修・修繕(9箇所)
	②指定管理(平成30年度～平成34年度)

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の耐震性を確保します。 ・誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設は、幼児・児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、「生きる力」を育むための教育環境として重要な意義を持つだけでなく、地震などの災害発生時に地域住民の緊急避難場所としての役割をも果たすことから、その安全性を確保する。 ・施設及び非構造部材の耐震化は一定終了したものの、学校施設の「長寿命化計画」の早期策定が求められている中、その老朽化が深刻である状況に鑑み、当該計画策定の検討をするとともに、再生整備(改修)を優先順位をつけて随時実施する。 ・三郷中学校建替えに伴い、旧校舎の解体工事及び新校舎の整備工事を実施する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○各学校・園の施設整備状況(主な補修工事等、事業費200,000円以上)	
	【三郷小学校】	
	工事名称	事業費(円)
	北館非常階段天井修繕	260,300
	正門付近側溝漏水修繕	323,460
	ウォータクーラー設置工事	399,060
	教室レール式ドア取替工事	800,000
	トイレ改修工事	2,970,000
	合 計	4,752,820
	【三郷北小学校】	
工事名称	事業費(円)	
屋上高架水槽配管水漏れ修理	224,208	
防火シャッターバッテリー取替、煙感知器取替	275,400	
3階渡り廊下水漏れ修繕工事	307,044	
ウォータクーラー設置工事	399,060	
自転車置き場取替工事	471,387	
校内LAN拡張工事	752,760	
プールサイドシーリング打替え工事	825,120	
合 計	3,254,979	
【三郷中学校】		
工事名称	事業費(円)	
三郷中学校建替工事	879,995,280	
合 計	879,995,280	

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設において、緊急かつ必要な改修・補修を優先的に実施したが、今後も経年に伴う改修・補修の更なる増加が見込まれる。 三郷小学校において教室レール式ドア取替工事及び低学年用のトイレを中心に洋式化工事を実施し、三郷北小学校においては、老朽化したプールサイドのシーリング打替えなど、各種補修工事を実施した。また、平成29年度は三郷中学校の校舎建替えに伴う旧校舎の解体を終え、新校舎の基礎工事を開始したことにより、工事費が前年度に比べて大幅な増加となった。【成果指標①】 三郷中学校建替事業において、旧校舎の解体工事、雨水路迂回工事及び新校舎の基礎工事・躯体工事の一部を実施し、本事業の累計実施出来高は、全工程の26%を完了した。【成果指標②】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	②成果指標	①学校、園改修等(中学校建替含む)	補修・改修件数	件	33	58
②三郷中学校建替事業		工事出来高率	%	-	26	H28 H29

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①経年による劣化等に対応するため、バリアフリー化も含めた改修及び補修。 ②和式トイレが主流である小学校内トイレの洋式化。 ③幼稚園・小学校における空調設備の早期設置。 ④ICT機器の導入に伴う校内ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティに配慮した整備工事等。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三郷北小学校のプールサイドは、シーリング打替え補修を3年連続で行っているものの、補修が追いつかなくなっている状況であり、根本的な対策を行う必要がある。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①経年に伴う改修・補修の更なる増加が見込まれることから、財政状況を勘案しつつ、随時、整備を進める。 ②三郷小学校の中・高学年フロアにおいてもトイレ洋式化を実施。 ③国庫補助金等を活用し、小学校における空調設備設計業務及び設置工事を実施。 ④外部から遮断されたネットワーク網で各学校と町及び教育委員会並びにデータセンター間を結び、かつ、児童・生徒の個人情報などを扱う校務系と児童・生徒が使用する学習系を分離し、情報セキュリティを徹底した教育ネットワークを構築するとともに、教員一人につき1台の校務用PCを配備。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プール槽全体を覆うシート防水工法により、工事費を抑えた改修工事を実施。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> 今後も財政状況を勘案しつつ、緊急性・優先性を考慮し、必要な整備を進めるとともに、平成30年度実施予定の施設改修・補修として、三郷小学校では前年度に引き続き、トイレ洋式化工事の実施、また、三郷北小学校ではプールのシート防水改修工事など整備を行う。 校内無線LANによる教育ネットワーク構築工事を実施。 三郷中学校建替事業については、平成31年2月の竣工を目標に、計画に沿って整備を進める。 平成32年度までに施設毎の中長期的な整備計画(長寿化計画)を策定。 		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	学校教育課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県など関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施して実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。県の研修に加え、生駒郡地教委主催で年2回研修を実施する。 ・発達障害等で特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 ・ICT教育機器の整備に向け、ICTを活用した指導方法の研修会を実施する。 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会及び奈良県幼児教育研究会において、幼児一人ひとりへのきめ細やかな対応を学び保育内容の充実を図るため、各種研修会に参加する。 ・幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、幼稚園教育と小学校教育との円滑なつながりを図り、幼小連携をより充実させるとともに、教員の資質向上を図る。 ・幼児期教育、小学校教育及び中学校教育との円滑なつながりを図り、幼保小中連携をより充実させるための研修会を行う。 <p>◎県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者 7人 ①第1回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者7人） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞ フィールドワークや体験活動等を通して、安堵町の歴史と文化について見識を深める。初任2年目の先輩の実践発表と安堵町教育長の「これからの教員に期待すること」を聞き、各自の今後の取り組みの参考にした。 ②第2回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者7人） <ul style="list-style-type: none"> ＜内容＞ 授業力を向上させるための工夫等について、自らの情報の発信と交流の重要性を体験的に学び、今後の授業実践に生かす。校種別に生徒指導上の課題事例をもとに討議し、解決するための手立てについて考える。 <p>【特別支援教育研修会】</p> <p>期日 平成29年8月18日(金) 場所 生駒市北コミュニティーセンターISTAはばたき 内容 講演会「子どもへの関わり方」～キレイな・キレイさせないために～ 三郷町からの参加人数：22人</p> <p>○幼稚園</p> <p>【生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会】</p> <p>内容 全体研修（講演）、各種部会研修（実践事例による研究協議）、特別支援教育部会（研修講義など）、公開保育</p> <p>回数 全体研修：郡2回、県2回 部会研修：（教育課程部会）郡2回、県3回 （放送教育部会）郡4回、県3回 （特別支援教育部会）郡3回、県3回 公開保育：郡1回、県1回</p> <p>【幼稚園教員研修】</p> <p>①園内研修及び新任研修</p> <p>内容 外部講師による保育内容の点検及び指導と特別支援教育に関する指導助言。 回数 年間10回</p> <p>②職員研修</p> <p>内容 保育終了後、幼児への理解を深めるために職員研修を実施し、保育内容等や環境づくりについての検討や教員の役割についての共通理解に努めた。 回数 年間を通じておおよそ月2～3回</p> <p>※その他、随時公開保育を行い、初任者の指導内容の充実を図った。</p> <p>◎県実施研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修への参加 参加人数：7人 ・教職経験に応じたステージ別研修及び職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：34人（幼稚園7人、三小10人、北小7人、三中10人）
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡地教委主催の初任者研修は、授業展開や教材・教具の工夫・ICT機器の利用、学級経営の仕方、児童・生徒との接し方、保護者対応等の実践的なもので、日常の教育活動に活かされている。また、各自の経験・実践の情報を発信し交流することで、自己の取組みをふり返る重要な機会を得た。【成果指標①】 ・特別支援教育研修会では、各校の特別支援教育コーディネーターを中心に、特支担当が積極的に参加し、コーディネーターの責務や、子どもの感情を理解し、子どもとの関わり方を学んだ。【成果指標②】 ・ステージ別研修には、34人が受講し、講座数は延べ52講座であった。【成果指標④】 ・ICT教育研修については、機器のデモンストレーション及び指導方法の研修会を行い、ほぼ全教職員が参加。電子黒板や書画カメラの使い方を学んだ。【成果指標⑤】
	<p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会では、各市町村の情報交換及び実践交流の場となり、研究協議の中から取り組みの反省と評価ができた。【成果指標③】 ・幼稚園教員、特別支援教育研修では、講師の講評の中から保育内容について改善するポイントを見出すことができた。また、特別支援を必要とする幼児の対応について、療育との連携により、職員間で学び合い共通理解を深めることができた。 <p>○教員研修における人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子ども達一人ひとりを大切にする教育活動に役立てた。また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①初任者研修		研修回数(町実施)	回	2	2
②特別支援教育研修会		参加人数	人	17	22	H28 H29
③生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会		研修回数	回	24	24	H28 H29
④ステージ別研修		参加人数	人	61	34	H28 H29
⑤ICT教育研修		研修回数	回	3	3	H28 H29

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①幼保小中連携については、それぞれの校種の違いによる教育内容や指導方法等、子どもたちが学校生活の変化に対応できるよう、各校種相互の現状理解と適切な指導が教員に求められる。 ②電子黒板・タブレットPCの導入に伴い、授業における機器の効果的な活用が教員に求められる。
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小学校における英語の教科化。 ②小学校における道徳の教科化。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①幼保小中連携については、幼稚園教育、小学校教育及び中学校教育との円滑なつながりを図るため、教員相互の情報共有及び意思疎通が重要である。また、研究授業等、校種を越えた研修などを通じて、子どもの段階的な成長を支援するとともに、それぞれの現場における違いや環境のギャップによる子ども達の戸惑いを軽減させるためのサポートができる体制の構築のための教員のスキルアップを図る。 ②授業におけるICT機器の効果的な活用については、教員の個別のスキルに大きく左右されることから、レベルに応じた研修の実施が望ましい。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成31年度の小学校での英語教科化に少なからず抵抗を感じる教員も多く、指導方法に戸惑いを感じる声が聞かれる中、具体的な授業展開方法の教示も含めた研修会等の開催が必要となる。 ②平成30年度の「特別な教科 道徳」の開始に伴い、児童生徒への評価を新たに実施する必要があるため、適切な評価方法の確立に向けた研修会等の開催等が必要となる。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・今後も教育に求められるニーズについて、その多岐にわたる内容を精査しつつ、マルチに対応が可能な教職員の育成及びその資質向上を図る。</p>

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	③就園・就学の支援	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれないよう、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎小中学校就学援助【国庫補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 <p>◎幼稚園就園奨励費補助金【国庫補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減及び公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、幼稚園教育の普及充実を図るため、私立幼稚園への就園奨励費補助金を交付する。 <p>◎育英振興助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内在住の中学校卒業で、経済的な理由で高等学校等への進学が困難な生徒に対し、新入学に際して要した経費の一部を助成する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>◎小中学校就学援助【国庫補助】</p> <p>【要保護児童生徒就学援助費】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学校名</th> <th style="width: 15%;">認定者(人)</th> <th style="width: 15%;">就学援助費(円)</th> <th style="width: 10%;">※修学旅行費のみ</th> <th style="width: 10%;">【国庫補助金】 補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>16</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>13</td> <td>125,600</td> <td></td> <td>62,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29</td> <td>125,600</td> <td></td> <td>62,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>【準要保護児童生徒就学援助費】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学校名</th> <th style="width: 15%;">認定者(人)</th> <th style="width: 15%;">就学援助費(円)</th> <th style="width: 10%;">給食費(円)</th> <th style="width: 10%;">援助費合計(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>64</td> <td>2,238,333</td> <td>2,764,540</td> <td>5,002,873</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>38</td> <td>1,479,790</td> <td>1,672,000</td> <td>3,151,790</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>69</td> <td>4,098,922</td> <td>3,116,400</td> <td>7,215,322</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>171</td> <td>7,817,045</td> <td>7,552,940</td> <td>15,369,985</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎幼稚園就園奨励【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内に在住し、私立幼稚園に就園する満3歳児及び3歳児から5歳児の保護者を対象に、所得に応じて補助金を交付。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">園児区分※</th> <th style="width: 15%;">受給者(人)</th> <th style="width: 15%;">就園奨励費(円)</th> <th style="width: 10%;">【国庫補助金】 補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>64</td> <td>8,260,000</td> <td rowspan="4">※ 満3歳児：H26.4.2～H27.4.1生まれ 3歳児：H25.4.2～H26.4.1生まれ 4歳児：H24.4.2～H25.4.1生まれ 5歳児：H23.4.2～H24.4.1生まれ</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>61</td> <td>7,814,100</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>48</td> <td>6,077,400</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>173</td> <td>22,151,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎育英振興助成金</p> <p>新入学に際して保護者等が負担した経費（授業料を除く。）のうち、学校区分に応じて、公立は3万円、私立は5万円を上限として助成金を支給。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学校区分</th> <th style="width: 15%;">認定者(人)</th> <th style="width: 15%;">助成額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>21</td> <td>630,000</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>1</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22</td> <td>680,000</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	※修学旅行費のみ	【国庫補助金】 補助金額(円)	三郷小学校	16	0		0	三郷北小学校	0	0		0	三郷中学校	13	125,600		62,000	合計	29	125,600		62,000	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)	三郷小学校	64	2,238,333	2,764,540	5,002,873	三郷北小学校	38	1,479,790	1,672,000	3,151,790	三郷中学校	69	4,098,922	3,116,400	7,215,322	合計	171	7,817,045	7,552,940	15,369,985	園児区分※	受給者(人)	就園奨励費(円)	【国庫補助金】 補助金額(円)	満3歳児	0	0	0	3歳児	64	8,260,000	※ 満3歳児：H26.4.2～H27.4.1生まれ 3歳児：H25.4.2～H26.4.1生まれ 4歳児：H24.4.2～H25.4.1生まれ 5歳児：H23.4.2～H24.4.1生まれ	4歳児	61	7,814,100	5歳児	48	6,077,400	合計	173	22,151,500	学校区分	認定者(人)	助成額(円)	公立	21	630,000	私立	1	50,000	合計	22	680,000
学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	※修学旅行費のみ	【国庫補助金】 補助金額(円)																																																																																
三郷小学校	16	0		0																																																																																
三郷北小学校	0	0		0																																																																																
三郷中学校	13	125,600		62,000																																																																																
合計	29	125,600		62,000																																																																																
学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)																																																																																
三郷小学校	64	2,238,333	2,764,540	5,002,873																																																																																
三郷北小学校	38	1,479,790	1,672,000	3,151,790																																																																																
三郷中学校	69	4,098,922	3,116,400	7,215,322																																																																																
合計	171	7,817,045	7,552,940	15,369,985																																																																																
園児区分※	受給者(人)	就園奨励費(円)	【国庫補助金】 補助金額(円)																																																																																	
満3歳児	0	0	0																																																																																	
3歳児	64	8,260,000	※ 満3歳児：H26.4.2～H27.4.1生まれ 3歳児：H25.4.2～H26.4.1生まれ 4歳児：H24.4.2～H25.4.1生まれ 5歳児：H23.4.2～H24.4.1生まれ																																																																																	
4歳児	61	7,814,100																																																																																		
5歳児	48	6,077,400																																																																																		
合計	173	22,151,500																																																																																		
学校区分	認定者(人)	助成額(円)																																																																																		
公立	21	630,000																																																																																		
私立	1	50,000																																																																																		
合計	22	680,000																																																																																		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助の認定者は、小中学校合わせて1,727名中200名（認定率11.6%）で、前年度に比べ6名減となった。【成果指標①】 ・幼稚園就園奨励費の受給者数は、前年度より9名減の173名。国の要綱改正に合わせ、町の補助額を引き上げたが、受給者数の減により幼稚園就園奨励費の給付総額は前年度より減となった。【成果指標②】 ・育英振興助成金については、22名（公立21名・私立1名）の対象者に対し、制服等の高校等入学に要した費用の一部を助成。【成果指標③】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①小中学校就学援助		認定者数	人	206	200
認定率			%	12.1	11.6	H28 H29
②私立幼稚園就園奨励費補助		受給者及び減免者数	人	182	173	H28 23,495,200 H29 22,151,500
③育英振興助成金		認定者数	人	19	22	H28 690,000 H29 680,000

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町立以外の小中学校へ通う児童・生徒の保護者に対する就学援助制度の周知を徹底する。 ②育英振興助成金制度の認知度がまだ低いことから、更なる周知方法の検討を要する。
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小学校入学準備等に係る費用の保護者負担軽減。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助の制度については、町立以外の小中学校に通っている児童・生徒の世帯も含め、すべての対象者に認識されるよう、町ホームページに掲載するなど、引き続き周知方法の工夫を図る。 ②育英振興助成金に関する案内を中学3年生の保護者宛に直接郵送することにより、保護者が助成金制度を確実に認識できるように努める。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①他市町村の実施例を参考にし、小学校入学前の準備等に係る保護者負担についても中学校入学予定者と同様に、事前に入学準備金を支給できるよう検討する。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育英振興助成金制度の認知定着に向け、就学援助受給世帯等、予め制度の対象となることが判明している世帯に対して申請勧奨を行う等、個別の対応や広報及びSNSの利用等により周知を徹底する。 ・幼児教育の重要性に鑑み、国における就園奨励費の国庫補助限度額が毎年引き上げられていることから、本町においても限度額の引き上げ等、国にあわせた拡充を実施している。今後も引き続き国の動向にあわせ、制度の拡充を行う。 ・就学援助の制度周知については、案内文書の発送とともに広報誌や町ホームページ・SNSの活用など効果的な周知方法を検討する。 ・小学校の入学準備金支給の可否を決定するためには、所得判定等を経て準要保護認定を行う必要があるため、周知時期等を考慮しながら実施を検討する。

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・学校教育において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、子ども達の持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。 ○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者に対し、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を行う。 ○特別支援教育担当者連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の連携を目的に、情報交換や就学指導のあり方を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 ○特別支援教育就学奨励費【国庫補助事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得額等の条件を付して、対象者に学用品費や学校給食費などの一部を援助する。 ※小中学校就学援助の認定者は支給対象外。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による臨時講師等（常勤・非常勤）を各学校に配置した。 【配置講師数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>南畑幼稚園</td><td style="text-align: right;">3人</td></tr> <tr><td>三郷小学校</td><td style="text-align: right;">5人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td style="text-align: right;">6人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td style="text-align: right;">3人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">17人</td></tr> </table> ○教育相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者を対象に、平成29年7月に斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を行った。 【相談人数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>三郷小学校区</td><td style="text-align: right;">8人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校区</td><td style="text-align: right;">8人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">16人</td></tr> </table> ○特別支援教育担当者連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実を図るため、小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者情報交換と連携を図る場として平成21年度より設置している「特別支援教育担当者連絡会議」を定期的に開催した。（年間5回開催） ○特別支援教育就学奨励費【国庫補助】 <ul style="list-style-type: none"> 【就学奨励費認定者数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>三郷小学校</td><td style="text-align: right;">7人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td style="text-align: right;">23人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td style="text-align: right;">14人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">44人</td></tr> </table> ※平成29年度決算額：1,616,419円（補助額 790,000円） <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（内訳）三郷小学校</td> <td style="text-align: right;">228,790円（補助額 111,000円）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">三郷北小学校</td> <td style="text-align: right;">724,410円（補助額 351,000円）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">三郷中学校</td> <td style="text-align: right;">663,219円（補助額 328,000円）</td> </tr> </table> 	南畑幼稚園	3人	三郷小学校	5人	三郷北小学校	6人	三郷中学校	3人	合計	17人	三郷小学校区	8人	三郷北小学校区	8人	合計	16人	三郷小学校	7人	三郷北小学校	23人	三郷中学校	14人	合計	44人	（内訳）三郷小学校	228,790円（補助額 111,000円）	三郷北小学校	724,410円（補助額 351,000円）	三郷中学校	663,219円（補助額 328,000円）
南畑幼稚園	3人																														
三郷小学校	5人																														
三郷北小学校	6人																														
三郷中学校	3人																														
合計	17人																														
三郷小学校区	8人																														
三郷北小学校区	8人																														
合計	16人																														
三郷小学校	7人																														
三郷北小学校	23人																														
三郷中学校	14人																														
合計	44人																														
（内訳）三郷小学校	228,790円（補助額 111,000円）																														
三郷北小学校	724,410円（補助額 351,000円）																														
三郷中学校	663,219円（補助額 328,000円）																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は増加傾向にあることから、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置。平成29年度は、三郷小学校に常勤5人、三郷北小学校に常勤6人、三郷中学校に常勤3人、南畑幼稚園に常勤2人及び非常勤1人の計17人を配置した。【成果指標①】 ・就学前の相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と特別支援担当の教員が相談を行うことにより、園での生活の仕方や専門機関への斡旋等、幼児の現状に応じたアドバイスができた。また、平成29年度の相談件数は前年度より5件増加の16件となり、相談内容としては特別支援学級入級に係る相談が多かった。【成果指標②】 ・特別支援担当者連絡会議を年間5回開催し、幼保小中学校間の情報交換との連携を図った。【成果指標③】 ・特別支援教育就学奨励費の認定者は、特別支援学級入級児童生徒74名中44名(就学援助認定者6名を除く。)で、前年度に比べ3名減となった。【成果指標④】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①特別支援教育の推進	配置講師数	人	17	17	H28 44,034,210 H29 45,524,249
②教育相談	相談人数	人	11	16	H28 H29	
③特別支援教育担当者連絡会	開催回数	回	4	5	H28 H29	
④特別支援教育就学奨励費	認定者数	人	47	44	H28 1,761,349 H29 1,616,419	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①年々、特別支援を必要とする園児・児童・生徒が増加しているとともに、個別の教育的ニーズも多様化している。また、授業内容や子どもたちの体調等により、別室において適切な支援が必要となるケースが増えてきていることから、その対応を検討する必要がある。</p> <p>②年々増加傾向にある特別支援学級入級者数に比例して、特別支援教育就学奨励費の認定支給者(世帯)も増加傾向にある中、経済的支援はもちろんのこと、多岐にわたる支援方法の検討が必要である。</p> <p>③就学前教育相談については、年々件数が増加しており、生駒郡合同教育相談においても会場を増設する状況になってきていることから、町において随時相談できる体制構築の検討が必要である。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①医療的ケアを必要とする児童・生徒への対応方法等について検討していく必要がある。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①教育と福祉など行政分野を超えた切れ目ない連携をより一層推進するために、担当者連絡会議等を通して情報共有を図るとともに、指導・支援する教員の確保並びに教員の専門性を向上させ、多様な教育的ニーズに応え得る柔軟な体制を構築する。</p> <p>②特別支援教育に係る相談体制を見直し、費用のみならず各種支援に対するニーズを把握し、対応を検討。</p> <p>③生駒郡合同教育相談の周知徹底を図るとともに、随時に教育相談体制を検討する。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①医療的ケアを必要とする児童生徒への対応等、支援のあり方について検討する。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児を含め、児童・生徒や保護者等のニーズ及び状況の変化に対応した総合的なサポート体制を確立する。 ・特別支援教育に係る多岐にわたる支援体制を確立する。

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○校内LAN・教育用コンピュータの整備 ・現行の校内LANは、セキュリティの強化をはじめ、ICT教育の推進に当たり導入している各種ICT機器を有効活用するために根本的な整備・更新が必要なことから、LAN整備に併せ、学習用PCの更新はもちろん、従前十分な台数が確保できていなかった教員の校務用PCを整備するため、平成30年度の「教育ネットワーク構築事業」実施に向けた精査。 ○ICT*教育の推進 ・平成28年度より3カ年計画で導入している電子黒板及びタブレットPCを活用した情報活用能力の更なる育成。 ○ALT*派遣 ・生きた外国語の学習や異文化に対する理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。 ・南畑幼稚園においても、幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、ALTとの交流会を行う。
---------	--

*ICT: Information and Communication Technologyの略語。情報通信技術。

*ALT: Assistant of Language Teacherの略語。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手。

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○教育用コンピュータ等の設置状況(現行)							
	種 類		設 置 台 数 (台)					
			三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	合計		
	サーバ		1	1	2	4		
	クライアントPC (デスクトップ)		20	15	42	77		
	クライアントPC (ノート)		1	6	6	13		
	プリンタ		10	10	7	27		
	プロジェクタ		1	1	3	5		
			三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校(仮設校舎)			
	整備年度	平成19年度	平成19年度		平成21年度			
設置場所	南館2階パソコンルーム	北館2階コンピュータ教室		奈良学園大学10号館 コンピュータ室				
○ICT教育の推進								
・平成28年度に続き、町立小中学校に電子黒板・書画カメラ及びタブレットPCを導入。								
(単位:台)								
ICT機器	三郷小学校		三郷北小学校		三郷中学校		合計	
	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度
電子黒板	7	7	7	9	22	—	36	16
書画カメラ	7	7	7	9	22	—	36	16
タブレットPC	70	60	70	60	80	140	220	260
・円滑にICT教育機器を利用した授業を開始できるよう、ICT支援員を配置。								
○ALT派遣								
・年間を通じて三郷中学校に1名、各小学校及び幼稚園に1名、計2名のALTを派遣し、英語学習・異文化理解等の活動を実施。活動時間等は下表のとおり。								
	対象	クラス数<A>	年間時間数(時間)		合計時間数(時間)<A>×			
三郷中学校	1年生	5	35		595			
	2年生	6	35					
	3年生	6	35					
三郷小学校	5年生	4	35		245			
	6年生	3	35					
三郷北小学校	5年生	4	35		245			
	6年生	3	35					
南畑幼稚園	年中～年長	1	8		8			
合 計		32	253		1,093			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○教育用コンピュータの設置状況 ・平成19年度から平成21年度の間設置済みのパソコン90台及び周辺機器36台を活用し、すべての町立学校において情報教育の充実を図ったが、今後必要となるLAN整備はもとより、PC(学習用115台・校務用150台)及び周辺機器(校務用プリンタ6台等)の整備・更新等のための精査及び本事業実施に係る予算を確保した。</p> <p>○ICT教育の推進 ・平成28年度から平成30年度までの3カ年で電子黒板76台(三郷小学校25台、三郷北小学校29台、三郷中学校22台)、書画カメラ76台(三郷小学校25台、三郷北小学校29台、三郷中学校22台)、タブレットPC600台(三郷小学校160台、三郷北小学校220台、三郷中学校220台)の整備を計画。平成28年度に続き2カ年目にあたる平成29年度では、電子黒板16台(三郷小学校7台、三郷北小学校9台)、書画カメラ16台(三郷小学校7台、三郷北小学校9台)、タブレットPC260台(三郷小学校60台、三郷北小学校60台、三郷中学校140台)の整備が完了した。【成果指標①】</p> <p>○ALT派遣 ・平成23年度より新学習指導要領が完全実施され、小学校5・6年生の外国語活動が必修となったことから、小学校において各クラス年間35時間の派遣時間を前年度に引き続き確保。 ・平成23年度より中学校で1名、幼稚園・小学校で1名の計2名体制へと変更し、平成29年度は年間計1,093時間の授業を実施した。【成果指標②】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①ICT教育の推進	電子黒板・書画カメラ・タブレットPC小中学校合計	台	292	292	H28 38,451,240 H29 31,357,584
②ALT派遣	ALTによる授業時間幼稚園・小中学校合計	時間	1,058	1,093	H28 7,680,204 H29 7,375,752	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①平成19年度の設置以降10年が経過している小学校の教育用コンピュータについては、更なる情報教育の充実を図るためにも、速やかな機器更新を要する。 ②平成28・29年度にICT機器の導入を行ったが、今後ICT教育機器を活用できる教員数を増やす取り組みを検討する必要がある。 ③ICT教育機器を効果的に活用できるよう、ICT支援員と協力し活用事例集を配布するなど、消極的な教職員への働きかけが必要である。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①ICT機器の使用頻度を上げるため、デジタル教科書等を導入する必要がある。 ②教育ICT化に伴い、教職員の情報セキュリティへの意識改革が必要である。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①町立学校のコンピュータについては、「教育ネットワーク構築」に向けた機器更新等について検討する。 ②次年度の「教育ネットワーク構築」事業実施に伴い、校務用PCをすべての教員に供給することにより、ICT教育機器の積極的な活用を促す。 ③全国のICT機器を活用した授業例を参考に、各教職員のスキルに沿った使用方法をICT支援員を通じて指導を行う。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①デジタル教材を導入するにあたって、学校と連携し教材選定に努める。 ②外部メモリ等の取扱方法など、情報セキュリティ研修会や学校管理職との連絡会議等の開催により、教職員の情報管理に係る意識改革の徹底を行う。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・老朽化したネットワーク環境の更新を図り、ICT教育を推進するための環境を整える。 ・平成32年度からの小学校における英語教科化に備え、ALT派遣日数増加を検討するとともに、事業の充実に努める。 ・ICT教育機器の整備に併せ、デジタル教材等の積極的な導入を進める。</p>		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・小中学生を対象とした専門機関によるメンタルヘルス相談や、中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 ・教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー事業を活用しながら、町独自で「心の相談員」を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託し、児童生徒の悩みに対して、適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談体制の充実を図る。 ◎スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。 ○心の相談員 生徒の悩み・不安・ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる「心の相談員」を中学校に配置する。 ○メンタルヘルス相談 園児及び小中学生とその保護者や教員等も含め、メンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健やかな心身の保持増進に努める。 ○不登校対策連絡会 町立の小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び登校を促す指導に努め、児童及び生徒の健やかな育成を推進する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎スクールカウンセラー活用事業【県費】 ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 17日 相談ケース数 ①児童生徒：35回 ②保護者：4回 ③教職員：1回 合計：40回 主な相談内容 不登校への対応、学校生活、友人関係など ※児童生徒へのカウンセリングのほか、教職員などへの助言。 ※その他、全校生徒を対象にストレスチェックのアンケートを実施。 ○心の相談員 ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 101日 相談ケース数 288回 主な相談内容 不登校問題、学校生活全般、本人に関わる問題など ○メンタルヘルス相談 ・園児、児童生徒、保護者及び教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに相談業務を委託し、専門機関による相談を実施。 相談ケース数 ①園児児童生徒：31回 ②保護者：61回 ③教職員：60回 合計：152回 ※延べ回数で計上。 ○不登校対策連絡会 ・不登校の児童生徒の実態把握と情報の共有、その後の現況報告並びに対応について協議・検討を行った。 年間開催回数 12回 ○不登校を語る保護者の集い（ブリーズ） ・平成29年度は生駒郡教育長会の事業として3回実施。天理大学大学院教授から、保護者に様々な助言がなされた。 主な内容 ・不登校児童の保護者の交流及び悩みの共有。 ・不登校児童の保護者へのアドバイス。 参加人数 7人 ※延べ人数
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の不登校児童生徒数は、対前年度比9人減の12人。学校教育指導主事3名を中心にした不登校児童生徒やその保護者へのきめ細やかな支援及び不登校対策連絡会の継続的な実施による関係機関との連携強化の成果であると考えられる。 (不登校：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの) いじめや不登校、その他生徒の抱える問題が多様化してきた中で、 <ul style="list-style-type: none"> ①専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置【成果指標①】 ②生徒の悩みを気軽に相談できる「心の相談員」の配置【成果指標②】 ③専門機関での相談を行うため、メンタルヘルス相談業務の委託【成果指標③】 を継続実施し、生徒一人ひとりの状況に応じた相談を実施。 中学校において、全校生徒を対象に「こころとからだのアンケート」を年2回実施。アンケートの結果、ストレスが高いとされる生徒に対し、担任のフォローアップ及び相談室との連携等を行った。平成29年度から仮設校舎での生活が始まったが、アンケート結果としては従前よりストレスが高くなっていることもなく、学校全体が安定した状況であることが窺える。 小学校においては、児童の悩み等を教員が親身になって相談に乗り、必要に応じてメンタルヘルス相談を紹介している。メンタルヘルス相談業務として、通院のほか、各小学校への巡回相談も実施しており、通っている学校で相談できる巡回相談は利用希望が多く、好評である。 「心の相談員」の相談回数が減少している主な要因としては、相談活動の一環として別室登校児への支援を実施しているが、平成29年度は別室登校児の数が例年より少なかったことによるものと思われる。 メンタルヘルス相談回数は152件で、前年度からほぼ横ばいとなった。児童生徒や保護者だけではなく、教員も多く相談をしており、幼稚園・小学校・中学校の関係者にとって身近な相談場所として定着してきている。 「不登校対策連絡会」では、不登校の児童及び生徒の実態把握、指導体制の整備及び家庭との連携強化について、引き続き協議及び検討を行った。特に小学校における不登校児童生徒数は顕著に減少している。【成果指標④】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①スクールカウンセラー(県費)	相談回数	回	36	40	H28 H29
②心の相談員	相談回数	回	360	288	H28 2,078,060 H29 1,548,920	
③メンタルヘルス相談	相談回数	回	151	152	H28 570,000 H29 570,000	
④不登校対策連絡会	不登校児童生徒数	人	21	12	H28 2,544,568 H29 2,332,597	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、不登校対策連絡会を引き続き実施するとともに、通学支援・学習支援を継続していく必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①不登校児童生徒数に対し、「不登校を語る保護者の集い」の参加者数が少なく、不登校児童生徒の保護者が孤立化している可能性がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①不登校対策連絡会を毎月実施するとともに、不登校支援担当の指導主事を3名配置し、通学・学習支援の充実を図る。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①「不登校を語る保護者の集い」について、主催者である生駒郡教育長会とも連携し、まだ参加していない保護者が参加しやすいような周知方法・実施体制を検討する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・今後も不登校問題をはじめ、児童生徒のさまざまな課題に対応するため、相談体制の充実を図るとともに、状況に応じてスクールソーシャルワーカー等の活用も行っていく。</p>		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課・学校教育課・生涯学習課	教育大綱	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 ・まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 ・学校の環境美化や緑化推進活動などについて、各種団体や地域ボランティアの参加協力を得られるように体制の構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、子どもの様々な活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図る。 ・各小中学校において、地域ボランティアの指導のもと、和太鼓、調理実習、ゲートボールなどさまざまな体験学習を実施する。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動に関わるボランティアを地域から募り、学校における環境整備や教育活動の支援をする。 <p>◎上記2事業が県補助事業（学校・地域連携事業）の対象であることから、本補助制度を活用し、各種事業を実施。</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども人権学習支援事業																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>13人</td> <td>26回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>クッキングクラブ</td> <td>三郷中学校</td> <td>1人</td> <td>7回</td> <td>調理実習</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>18人</td> <td>13回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>学校教育課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>29人</td> <td>15回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>学校教育課</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">親子で遊び隊</td> <td rowspan="2">三郷小学校</td> <td>14人</td> <td>1回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>12人</td> <td>1回</td> <td>凧作り※北小「つながり学級」合同</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>11人</td> <td>11回</td> <td>手話コーラス</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>57人</td> <td>7回</td> <td>軽スポーツ、お茶、ものづくりなど</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各活動の指導には、地域住民や各種団体の協力を得た。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	13人	26回	和太鼓の演奏	生涯学習課	クッキングクラブ	三郷中学校	1人	7回	調理実習	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	18人	13回	ゲートボール体験	学校教育課	ふれあいクラブ	三郷小学校	29人	15回	和太鼓の演奏	学校教育課	親子で遊び隊	三郷小学校	14人	1回	デイキャンプ	教育総務課	12人	1回	凧作り※北小「つながり学級」合同	教育総務課	にこやかクラブ	三郷北小学校	11人	11回	手話コーラス	教育総務課	つながり学級	三郷北小学校	57人	7回	軽スポーツ、お茶、ものづくりなど	生涯学習課
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																															
	どんどん和太鼓	三郷中学校	13人	26回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																															
	クッキングクラブ	三郷中学校	1人	7回	調理実習	教育総務課																																															
	多聞クラブ	三郷小学校	18人	13回	ゲートボール体験	学校教育課																																															
	ふれあいクラブ	三郷小学校	29人	15回	和太鼓の演奏	学校教育課																																															
	親子で遊び隊	三郷小学校	14人	1回	デイキャンプ	教育総務課																																															
			12人	1回	凧作り※北小「つながり学級」合同	教育総務課																																															
	にこやかクラブ	三郷北小学校	11人	11回	手話コーラス	教育総務課																																															
つながり学級	三郷北小学校	57人	7回	軽スポーツ、お茶、ものづくりなど	生涯学習課																																																
◎学校支援地域本部事業																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業は県の補助事業として町で実施。 ・子ども人権学習支援事業の各種活動については、前年に引き続き参加している児童・生徒も多い。 																																																					
<主な活動実績>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・一輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、昔遊び、英語学習支援、校区探検、陸上記録会練習、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞号清掃など</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>緑化推進活動、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、パソコン学習支援、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援など</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	活動内容	三郷小学校	緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・一輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、昔遊び、英語学習支援、校区探検、陸上記録会練習、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞号清掃など	三郷北小学校	緑化推進活動、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、パソコン学習支援、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援など	三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など																																													
学校名	活動内容																																																				
三郷小学校	緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・一輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、昔遊び、英語学習支援、校区探検、陸上記録会練習、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞号清掃など																																																				
三郷北小学校	緑化推進活動、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、パソコン学習支援、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援など																																																				
三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など																																																				
<学校支援ボランティア登録人数>																																																					
計：198人(前年度比8人増)																																																					
<その他>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天体観測会</td> <td>保健センター前</td> <td>7月31日(月)</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ボランティア給食会</td> <td>三郷北小学校</td> <td>1月19日(金)</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>1月25日(木)</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	内容	開催場所	開催日	参加人数	天体観測会	保健センター前	7月31日(月)	38人	ボランティア給食会	三郷北小学校	1月19日(金)	28人	三郷小学校	1月25日(木)	10人																																						
内容	開催場所	開催日	参加人数																																																		
天体観測会	保健センター前	7月31日(月)	38人																																																		
ボランティア給食会	三郷北小学校	1月19日(金)	28人																																																		
	三郷小学校	1月25日(木)	10人																																																		
<p>※天体観測会は、学校支援ボランティア間の交流及び情報交換の場として実施。</p> <p>※給食会は、学校支援地域本部事業「昔遊び」と日程を合わせ、学校支援ボランティアと子ども達との交流も目的に実施。</p>																																																					

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や各種団体の指導のもと、世代間の交流をはじめ、子ども達が日頃、経験できない様々な活動を通して、仲間と達成する喜びを学んだ。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの新規登録者数は、例年、学生登録者の学校卒業に伴う脱退等により新規登録数と脱退数が相殺されることから、伸びは緩やかではあるが、前年度比8名の増。また、平成29年度には学校支援地域本部事業活動写真を図書館にて掲示し、ボランティア募集の啓発活動を前年度に引き続き実施。 ・県の補助金を有効に活用し、様々な事業を積極的に実施した。 ・多くのボランティアの参加のもと、両小学校において「古典音楽鑑賞会」や「稲刈り」等、様々な活動を実施。これらの事業は、例年、子ども達にとって充実した貴重な体験授業となっている。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①子ども人権学習支援事業		参加人数(延べ人数)	人	1,769	1,459
ボランティア登録人数			人	190	198	H28 989,193
②学校支援地域本部事業		ボランティア参加人数(各学校計・延べ人数)	人	1,196	1,701	H29 970,188

※上記②の参加人数については、日常的なボランティア活動を含まない。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…参加人数が少ない講座の募集方法及び魅力ある講座内容の検討。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…学校支援ボランティアの登録人数の伸び悩み及び登録人数と実稼働人数との乖離。</p> <p>③『子ども人権学習支援事業』…中学校仮設校舎の諸条件等により開催場所及び時間等の制限がある中での活動展開方法。</p> <p>④『学校支援地域本部事業』…ボランティアの高齢化に伴う体力的な問題やコーディネーターの高齢者ボランティアに対する参加要請の配慮等により参加人数は減少傾向にあることから、年齢や業務の種類等に応じた人選ができるよう幅広い年齢層における人材の確保。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①『学校支援地域本部事業』…ボランティア登録者の年齢層が高く、参加できるジャンルが限定されてきており、活動内容がマンネリ化傾向にある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…講座の内容によっては前年度から引き続き参加している児童・生徒もいることから、継続する中で増えていく仲間と共に感じる達成感の大切さを実感できるような雰囲気作りを努めた。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…平成29年度から実施した「ボランティア活動写真」の図書館での掲示は、啓発活動として一定の効果が見られたことから、今後も継続的に実施。また、登録人数と実稼働人数の乖離については、新たな事業展開をすることにより、参加率を上げるため、新たな活動内容及び各種ボランティア講師の模索を行った。各種事業への参加率の低迷については、ボランティア活動参加に対する意向の再確認による名簿の整理を引き続き実施。</p> <p>また、ボランティア人材の確保については、奈良学園大学とのネットワークを利用しつつ、各学校のコーディネーターを中心に地域の人材発掘に引き続き努める。</p> <p>③『子ども人権学習支援事業』…目新しく、かつ、魅力ある講座を企画するため、現在、町で各種事業を推進している産官学の協働も視野に入れ、奈良学園大学の協力を求め、新規事業を企画・検討する。</p> <p>④『学校支援地域本部事業』…事業効果をボランティア一人ひとりが実感できる事業を実施することにより、若い世代の積極的なボランティア参加を促し、継続的かつ活発な事業展開を図る。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①『学校支援地域本部事業』…学校との連携のもと、ボランティアの内容の充実及び項目を更新し、様々なジャンルにおいて活動意欲の高いボランティアが参加できるよう努める。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>「子ども人権学習支援事業」及び「学校支援地域本部事業」両事業において、地域と学校との連携を密にし、併せて奈良学園大学を含めた「産官学」の連携をより効果的に発揮できる各種事業の展開を図る。</p>

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	教育大綱	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見守り活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 ・子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信先を拡充し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 ・園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全確保を目指し、不審者情報等を登録者にメール配信する。 ◎さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアの方々にご協力いただき、登下校時の通学路で見守りを行う。 ・ボランティアの見守りに併せて、小中学校の下校時に安全巡視員を通学路に配置(シルバー人材センター委託)し、更に多くの目で見守ることで、児童生徒の安全確保を図る。 ◎青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の下校時にあわせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。 ◎防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> ・警察の協力により、小学校及び幼稚園において、防犯・交通安全教室を開催する。 ○子ども110番の家(環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが身の危険を感じたとき、また、被害に遭ったとき、子どもを保護し関係機関へ連絡するなどの子どもの安全確保はもとより、「子ども110番の家」の旗を掲げることで犯罪の抑制効果も期待できる。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども情報ネット配信状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>配信件数</th> <th>うち町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	不審者内容	配信件数	うち町内件数	声掛け	9	3	つきまとい	2	2	露出	3	3	痴漢	7	4	盗撮	1	1	傷害・犯罪	0	0	不審電話	0	0	その他	1	0	合計	23	13	<p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を登録者へメール配信する。 <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童や生徒の保護者、各種団体・関係機関の関係者など計865人。(平成30年3月末現在)
	不審者内容	配信件数	うち町内件数																														
声掛け	9	3																															
つきまとい	2	2																															
露出	3	3																															
痴漢	7	4																															
盗撮	1	1																															
傷害・犯罪	0	0																															
不審電話	0	0																															
その他	1	0																															
合計	23	13																															
	<p>◎さんごう子ども見まもり隊</p> <p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会等</td> <td>14</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>13</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>-</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36</td> <td>504</td> </tr> </tbody> </table>	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会等	14	182	学校関係	7	115	各種団体	13	171	町議会	1	13	教育委員会	1	5	個人	-	18	合計	36	504	<p>【子どもの安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携及び情報交換を図る場として子どもの安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。 							
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																															
自治会等	14	182																															
学校関係	7	115																															
各種団体	13	171																															
町議会	1	13																															
教育委員会	1	5																															
個人	-	18																															
合計	36	504																															

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町全体で子どもの安全対策に取り組んできた結果、前年度に続き平成29年度においても、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害はない。これは、地域住民や子ども達の危機意識の向上が町内における犯罪被害防止に繋がっているものと考えられ、同時に不審者情報件数も減少傾向にある。しかしながら、依然不審者の出没は頻発しており、全国的に発生する犯罪の被害状況等に鑑みても、地域全体の更なる防犯意識の向上と強固な連携及び協力は不可欠である。 なお、「子ども情報ネット配信」登録者数は、前年度比20人の増で、不審者情報の周知は防犯意識の向上に繋がっているものと思われる。【成果指標①】 「子ども見まもり隊」登録人数については、増減の相殺により前年度と同数になったものの、未登録の見守り活動の協力者もいる反面、登録のまま活動を休止している人もいることから、登録者数と実働者数は乖離していることが想定される。【成果指標②】 何らかの対策を要する町内通学路危険箇所については、信号や標識等の掲示及び通行規制など、警察等の関係機関への協力依頼を要するケースも少なくないが、地域住民や関係機関の見守り等の協力により、以前より子ども達が安心して通学できるようになってきているものと思われる。今後も重点的な通学路の点検及び関係機関への要望等の働きかけを継続していく。なお、巡視委託の増については、見守り強化に加え、三郷中学校仮設校舎の通学路上の見守り箇所の増加・増員に伴うものである。【成果指標③】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	845	865	H28 64,800 H29 64,800
②子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数 (累積人数)	人	504	504	H28 0 H29 0	
③巡視委託	巡視回数 (小・中学校 年間合計・延べ回数)	回	2,651	5,429	H28 3,264,341 H29 6,089,238	
④青色防犯パトロール	パトロール回数	回	75	80	H28 0 H29 0	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども見まもり隊」の協力団体や地域による参加率等の温度差。 ②放課後児童クラブ下校時の児童の安全確保。 ③登下校時の児童生徒の安全確保はもとより、危険度の高い交差点(勢野北地区等)における「子ども見まもり隊」及び地域や関係機関等のボランティアの安全確保。 ④「子ども見まもり隊」の登録には傷害保険の加入に伴うため、実状に即した登録者名簿の整理が必要。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①冬季の日没時間等も想定した通学路の安全性の確保
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども見まもり隊」について、学期毎の活動報告と活動目的を関係会議において周知するとともに、自治会等に対する協力依頼により、各地域における温度差解消をはじめ、地域の子どものを守る意識の向上については一定の効果が現れているものと思われる。しかしながら、子どもを巻き込む悲惨な事件が全国的に発生する現状に鑑み、更なる「地域の見守り強化」に対する啓発を実施する。 ②放課後児童クラブの下校時間及び見守り活動の充実を図るため、見守り強化箇所の洗い出しを実施し、見守り業務委託の人員配置数等を検討することで、次年度以降の更なる見守り体制の構築及び強化を図った。 ③児童生徒が安全に通学できるよう、特に通行量の多い通学路等において警察及び地域に協力を求め、立哨活動の強化を実施することにより、ドライバーに対する啓蒙にも繋がった。 ④「子ども見まもり隊」登録者の高齢化等による活動継続の可否及び実状等を把握するため、本人への意向確認等はもとより、相互連絡を容易にするため、メールアドレスの登録を勧奨した。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①冬季の日没時間及び一般的な防犯の観点から、下校時等に暗くなる通学路における街路照明の設置。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
すべての事業において、地域住民及び関係機関との連携を強化。地域全体で更なる危機感を持ち、防犯意識の向上を図るため、地域の協力を求め「犯罪被害者を生まない町づくり」の基盤強化につながる事業を展開する。併せて「子ども見まもり隊」の名簿整理及び更新を実施。		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (学校教育課)	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校給食衛生管理基準」に基づき、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心な学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理及び職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する観点から、より多くの地産産物の野菜等を使用して安全安心の学校給食を提供する。 ・栄養管理職員の資質向上を図るため、県の調理員研修に参加する。 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。 ・農業委員会の指導及び協力を得て、食育の面も含めて「教育ファーム実践事業」を推進するとともに信貴山のどか村の協力も得て、町内産の食材を使用することにより地産地消率を進める。 ○給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの調理・配送等業務については、公募型プロポーザル方式（企画提案方式）により決定した業者に委託。きめ細かな食物アレルギー対応等、安全安心な給食の提供に努めている。 ○放射能測定器による食材検査 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な食材を使用した給食を提供するため、国の原子力災害対策本部指定の出荷制限対象となる17都県を産地とする食材について引き続き検査を実施。 ・また、食品中の放射性物質に係る国の検査基準値（一般食品は100Bq/kg以下、牛乳は50Bq/kg以下）をより厳格化し、本町の検査の測定下限値をすべて40Bq/kg以下と定め、測定下限値を超えた食材は使用しないことにより、安心・安全な給食の提供に努める。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心の学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園及び小学校において保護者を対象とした給食試食会を実施したところ、208人が参加した。 ・安全・安心な学校給食を提供するため、できる限り国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜を積極的に使用した。 ・県が実施している調理員研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。 ①学校給食衛生管理指導者実技講習会（7月26日(水)）参加人数：2人 ②奈良県学校給食研究大会（8月22日(火)）参加人数：4人 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校において作成した「食に関する指導」の全体計画をもとに実践。 生活科・家庭科や総合的な学習の時間における「食に関する指導」や給食に関わる指導を実施。 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ①教科等授業時間数： 31時間 ②給食指導時間数： 19時間 ③個別指導その他： 10時間 ・「食育推進事業」として、給食センター2階研修室において住民を対象に年間18回のクッキング教室を実施した。 ・「教育ファーム実践事業」については、農業委員会の指導及び協力を得て、食育及び地産地消推進の観点から、例年、体験授業として各小学校児童が前年11月に作付けをしたタマネギを本年度の5月に収穫した。また、11月には次年度に向け、各小学校児童がタマネギの作付けを行った。 ○給食費の滞納状況 <ul style="list-style-type: none"> ・徴収業務として、文書による督促をはじめ、電話・家庭訪問による交渉を行い、滞納の解消に努めた結果、前年度に引き続き滞納額が減少した。 【平成29年度末現在滞納状況】 <ul style="list-style-type: none"> ①滞納額(平成21年度～平成28年度) 199,533円(10人) ②徴収額 78,703円(6人) ③平成29年度末滞納額 120,830円(6人) ④平成29年度分滞納額(現年度分) 16,000円(1人) ☆平成29年度滞納額(合計) 136,830円(7人) ○新給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターにおける調理・配送等業務は、公募型プロポーザル方式(企画提案方式)により業者選定し、現在、株式会社東洋食品に3ヵ年契約(平成27年8月1日から平成30年7月31日)で委託している。 ・食物アレルギー対応として、卵(鶏卵・うずら卵)・乳製品(牛乳・チーズ・ヨーグルト・バター)・エビ・カニのアレルギーについては、除去食により対応。また、卵・乳製品を含むデザートに対しては代替食により対応。なお、牛乳の除去・代替(緑茶・豆乳)については、保護者の意向に沿って対応している。 ○放射能測定器による食材検査 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年3月1日より放射能検査測定器による食材検査を実施。 【成果指標⑥】 <ul style="list-style-type: none"> 【検査数】 1学期 81品 2学期 115品 3学期 63品 合計検査数 259品 <p style="text-align: right;">※放射性セシウム 不検出 すべて、40Bq/kg以下</p>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食試食会や食育指導事業を通じて、給食に対する理解が深められた。【成果指標①②】 給食費の滞納整理は、平成28年度末時点の滞納額199,533円が平成29年度末時点で136,830円と、対前年度比62,703円の減となり、5年連続の減となった。徴収については、保護者の経済的理由により納付困難なケースも多いが、再三にわたる保護者との協議及び支払期限毎の電話による確認作業、並びに家庭訪問による交渉等を実施した。【成果指標③】 平成27年度に給食センターを建替え、調理・配送等業務を民間委託にしたことにより、高度な衛生管理の実現及び安全・安心な給食の提供が可能となったことに加え、調理員の資質向上を図ることができた。また、食物アレルギー対応については、平成30年3月時点で12名に対応しており、安全安心な学校給食の提供が図れている。 食育・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を提供できた。農業委員会の黒大豆枝豆の使用や信貴山のどか村(給食食材用畑)の協力により、少しずつ町内食材地産地消率のアップに繋がっている。また、教育ファーム実践事業によるタマネギは、暑さ対策として保管施設の屋根に寒冷紗を設置したことにより、給食食材としての使用量を前年度より増やすことができた。【成果指標④】 食育推進事業「食育クッキング教室」を住民対象に開催することにより、食育の推進を図ると同時に、防災機能を有する「複合的施設」としての認知度を高めることができた。【成果指標⑤】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)	
						H28	H29
②成果指標	①給食試食会	参加人数	人	196	208	H28	H29
	②食育指導	延べクラス数	クラス	46	46	H28	H29
	③給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	10	7	H28	H29
						199,533(滞納額)	136,830(滞納額)
	④食育・地産地消の推進	町内食材地産地消率	%	2.06	2.34	H28	H29
	⑤食育推進事業(食育クッキング教室)	開催回数	回	10	18	H28	H29
⑥食品放射能測定器による食材検査	年間検査数	品	289	259	H28	H29	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①給食費の徴収については、現年度分の未収額が年々減少はしているものの毎年発生している。また、過年度分未収額も減少できるよう、滞納者への交渉等をより一層強化する必要がある。</p> <p>②給食センター2階の調理室で実施する食育事業については、平成30年度についても、20回の開催を目指し、積極的に実施する。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①平成29年度の食育事業には新規の参加者が少なく、前年と同じ参加者が大半を占めていたことから、幅広いPR方法の工夫が必要である。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①給食費の滞納整理については、今後も継続的に実施し、学校からの働きかけはもとより、給食センターからも定期的に保護者に交渉する。</p> <p>②食育事業の開催回数については、積極的なPRの結果、前年度より8回多い18回の開催となった。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①食育事業については、1人でも多くの方に参加いただけるよう各学校・園の給食試食会等でもPRし、多方面からの協力を得ながら魅力ある食育クッキング教室を企画・開催する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き地産地消を推進及び安全安心な学校給食の提供に努める。 給食費の滞納については、学校と連携・協力しながら、現年度分の未納解消に努め、今後も引き続き「滞納ゼロ」を目指して滞納処理に努める。 また、生活保護法及び破産法の規定により免責許可の決定がなされているなどの理由から、徴収の見込みがない給食費の滞納分については、不納欠損処分の手続きを可能とするよう「三郷町学校給食費の不納欠損処分要綱」の制定を検討する。 教育ファーム実践事業の推進については、今後も農業委員会の指導及び協力を得ながらタマネギの作付けから収穫までを子ども達自身が体験することで、改めて「食」について意識を高め、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の気持ちや理解を深める。また、子ども達が自ら収穫したタマネギを給食食材として使用することにより、食育はもとより地産地消の推進にも繋げる。 食育事業については、町民を対象に食育クッキング教室を年間20回開催することを検討するとともに、新たな事業として、町民を対象に「給食試食会」の企画・開催を検討する。

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培う環境づくりに努める。 ・幼児一人ひとりの特性に応じた発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育むべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで、円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指し、幼稚園の機能を活かして預かり保育や園庭開放・教育相談を行い、子育て支援に努める。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○バザー及び模擬店(みなみはた祭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA事業の一環として、PTA役員と園で協力体制・実施方法・改善方法を協議しながら、「みなみはた祭」を10月7日(土)に実施。 <p>○奈良県教育週間(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県幼児教育研究会による「子ども作品展」への出展。 ・地域に開かれた幼稚園づくりを目的として、教育講演会及び保護者が保育に参加する「幼稚園ウィーク」を開催。 <p>【内容】</p> <p style="margin-left: 20px;">11月10日(金)・・・保護者参加型の保育参観を実施。3歳児・・・信貴山寺本堂まで親子で散策。 4歳児・・・ニンジンの種植えと木材を使ったネームプレートづくり。 5歳児・・・親子でバターとホットケーキづくり。</p> <p style="margin-left: 20px;">11月14日(火)・・・人形劇鑑賞と教育講演会の開催。 親子で人形劇サークル「ともとも」の公演を鑑賞後、講演会を行った。 演題：これで安心！すぐに使える子育てコミュニケーション 講師：コミュニケーション・サポーター 横山由紀子さん</p> <p>○特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする園児の個別指導計画を作成し、保護者や関係機関との連携に努めた。 また、職員のスキルアップや幼児理解を深めることを目的として、巡回アドバイザーや県教育研究所から指導主事や作業療法士を講師に招き、園内研修を実施。 <p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、「手作り弁当日」を設定し、保護者に食育の大切さを考えてもらう機会とすることにより、食育の推進を図った。 ・保護者を対象に多目的ホールにて学校給食センターの栄養士による「食育に関する講演会」を開催し、併せて親子給食を栄養士同席で実施。親子で給食を食べながら教員や栄養士と食について話をする機会となった。 <p><実施日> 5月30日(火):3歳児もも組 9月26日(火):4歳児うめ組 9月27日(水):5歳児さくら組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児を中心に園内菜園を行い、収穫した野菜などを使ってカレー作りを実施する予定であったが、感染性胃腸炎流行のため中止。地域の方の協力を得て苎堀りを体験し、収穫した苎の調理をはじめ、栗、梅の実、柿など、園内で実った果実を自分達で収穫し、味わい、身近な食材に接する機会を多く持つようにした。 <p>○子育て支援及び預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育終了後に園庭を開放して、保護者と園が園児の成長を共有し、保育内容に対する理解を深めるとともに家庭教育の啓発や子育て相談を行う「にこにこランド」を年間6回実施。 ・家族の通院や介護、兄や姉の授業参観等のほか、保護者の就労時間や各家庭の諸事情により、緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育が必要が生じた場合に、できる限り対応し、預かり保育を行った。 <p>○ALTとの交流(年間8回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年中～年長児が歌や遊びなどを通じて外国語や異文化に触れ、コミュニケーションの楽しさを感じることが出来る「ALTとの交流」を実施。(年中3回・年長5回)
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を対象に年間2回実施している園評価の結果では、前年同様に『地域に開かれた幼稚園である』及び『特色ある活動を取り入れている』の2項目の評価が他の項目に比べて低かった。従前、「地域に開かれた幼稚園づくり」を目的として、幼稚園ウィークの期間に教育講演会や保護者参加型保育参観などを幼稚園教育に対する理解を深めてもらう機会として実施しているが、今後も保護者へのアプローチの工夫が必要であると考えます。 ・各教諭が、幼児一人ひとりに対する理解を深めるため、クラスや全教諭でカンファレンスを行い、研修に積極的に参加するなど、意欲的に取り組んでいる。また、教諭の自己評価表を園内で作成し、日頃の自身の保育のありようについて17項目にわたり、前期・後期の年2回、自己評価を実施している。評価項目中、「幼児の主體的な活動を尊重する視点を持ちながら保育に当たっている』及び『環境を通して行う教育の推進に努めている』という項目についての自己評価が全体的に低く、「保育内容の充実」における更なる努力が必要である。 また、「幼児の姿、成長、課題を保護者と共有し、信頼関係の構築に努めている」という項目と子育て支援・預かり保育に係る『カウンセリングの基礎理解と相談機能向上に努めている』の2項目の評価も低く、保護者との積極的な信頼関係づくりが未だ十分でないことが窺える。このような教諭の積極性の不足が保護者と園との交流の場ともなる「にこにこランド」の参加率の伸び悩みにも影響があるものと考えられる。 ・預かり保育については、母親が就労している家庭の利用が多く、前年に比して母親の就業率が大幅に上がったことから実施回数が急増した。
-------------	---

事業名		成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
②成果指標	①預かり保育	実施回数	回	123	269	H28 - H29 -
	②園庭開放「にこにこランド」	実施回数/参加家庭数	回/家庭	6/258(家庭)	6/243(家庭)	H28 - H29 -

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育て相談や保育内容の理解、また、家庭教育啓発のための園と保護者との連携はもとより、保護者同士のつながりを広げるための幼稚園の役割。 ②本園の特色ともいえる「豊かな自然環境」の十分な活かし方。 ③「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」について保育園とも情報を共有しつつ、就学前教育の充実に向けた保幼小の連携体制づくり。 ④平成30年度の幼稚園教育要領改定に伴う本園のカリキュラムの見直し及びその方法。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に基づいた組織的・計画的な教育活動の質の向上。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①親子行事等の機会や電話連絡・家庭訪問など、教諭自らが保護者との積極的なコミュニケーションに努めるとともに、全教諭による個々の事案に対するケース会議及びカウンセリング研修等の参加により教諭のスキルアップを図る。また、園児の誕生会の後に、来園した保護者と園の管理職で「おしゃべり会」を実施し、クラスやバス停(地域)の違う保護者同士のつながりの場を提供しているが、子育ての悩みを出し合うことのできる場となっている。 ②恵まれた自然環境を保育の中で活かした特色ある保育を実施するため、日ごろから環境の整備に努めるとともに定期的に検討会を行った。また、子どもの日々の様子をクラスだよりなどを通して保護者に分かりやすく伝える工夫をし、今後もタイミングよく、継続的に実施する。 ③年長児の保幼小交流会を通して、引き続き教諭同士が子どもの育ちや課題について意見交換できる機会を持ち、公開保育には教諭が互いに参加しあえるようにすることで、有効な研修の機会とした。また、小学校教員の参加も検討し、更なる保幼小の連携を強化する。 ④教育課程を入園から修了までの見直しを持ちやすい様式で編成。また、園の目標を職員間で共有し、教育課程がめざす「子ども像」の実現に向けて、各年齢に応じた適切な内容になっているかを検討した。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①全教職員協力の体制のもと、教育課程の実施状況を評価し、改善を図り、教育活動の質の向上を図る。また、日々の保育指導計画の評価及び改善や子どもの姿の見取りを教育課程の改善に活かすように検討する。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・今後も地域や保護者から信頼される幼稚園を目指し、保護者を対象に実施している「園の評価」及び教諭の自己評価の結果をもとに、更なる教職員の資質向上と教育内容の充実を図る。また、各方面からの情報収集を行い、教職員のスキルアップのため、各種研修への積極的な参加を促すとともに、園内研修や検討会等の機会を積極的に利用し、教職員間の共通理解や連携を図る。</p>		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①放課後児童クラブの充実	担当課名	教育総務課	教育大綱	「子育てなら三郷町」
基本方向	・放課後や夏・冬・春休み時に子どもが集まって、学習や遊びを通して自主性や社会性・想像力を養えるよう放課後児童クラブを推進します。 ・放課後児童クラブにおいて、障がいのあるなしに関わらず、ともに参加できるよう関係者の理解やボランティア活動の促進に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎放課後児童クラブの運営【国・県補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後や昼間、保護者が就労等により家庭において保育できない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的に、小学校の空き教室等を利用して、町が運営主体となり放課後児童クラブを設置する。 <p>①対象：町内小学校に就学している児童 ②人 称：三郷小学校放課後児童クラブ（定員100人） 三郷北小学校放課後児童クラブ（定員180人） ③開所時間：学校授業日 午後2時～午後7時 学校休業日 午前8時～午後7時 ④休 所 日：土、日曜日及び祝日（年末年始） ※第2土曜日（7月・8月を除く）は、事前申込制により開所。 ⑤育 成 料：毎月5,000円（ただし、要件を満たせば申請による育成料の減免措置あり。）</p> <p>◎放課後児童クラブの増築及び改修【国・県補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の入所対象児童は小学4年生までであることから、要望の多かった6年生まで対象を拡大し、定員を三郷小学校放課後児童クラブについては160人に、三郷北小学校放課後児童クラブについては240人に各々増数し、平成30年度からリニューアルするため、保育施設の増築及び改修を実施する。 ※補助対象経費に対する補助率：＜増築＞国2/3・県1/6・＜改修＞国1/3・県1/3
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○入所人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">放課後児童クラブ名</th> <th style="text-align: center;">入所人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校放課後児童クラブ</td> <td style="text-align: center;">96</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校放課後児童クラブ</td> <td style="text-align: center;">180</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入所人数は年間平均</p> <p>○製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノを作る楽しさ、自分で工夫し創造する楽しさを体感させるため、作品の製作を行った。また、できあがった作品は、保護者等にプレゼントすることにより、日ごろの感謝の気持ちを表し、家族の絆を再確認できる機会となった。 ①正月製作：祝い箸 ②万華鏡製作 <p>○伝承遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる遊びを通じて、日本の文化を再認識し、また友だちと集団で遊ぶ楽しさを実感させるため、冬期に伝承遊びを実施。 内容：こま、なわとび、けん玉 <p>○指導員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の資質の向上を図るため、県主催の「児童館・放課後児童クラブ職員研修」に参加。 ・内容 ①講演：音楽遊び（歌、合奏）、音楽療法について ②講演：保護者支援と保護者対応について ③講演：事故防止と応急処置等（身近なものでの応急処置の実践）について ④講演：障害児対応（特別支援教育）について ⑤講演：児童虐待について <p>○育成料の減免</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯を対象に育成料の減免。 ※減免者数：30人。 <p>○特別な支援を要する児童の受け入れ及び学生アルバイトの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する児童の受け入れ数(1ヶ月あたりの平均)・・・三郷小学校 5人 三郷北小学校 10人 ・開所時間の長い夏休み中の指導員補助として大学生のアルバイトを募集し、3人雇用。 ※三郷小学校 2人 三郷北小学校 1人 <p>○放課後児童クラブの増築及び改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所対象を6年生まで拡大し、平成30年度より定員数を三郷小学校では100人から160人に、三郷北小学校では180人から240人に増数するため、施設整備工事を実施した。 ①三郷小学校放課後児童クラブ・・・空き教室を改修し、保育室を1室増室 ②三郷北小学校放課後児童クラブ・・・現存の保育棟に隣接した保育棟(保育室4室)を増築 	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	三郷小学校放課後児童クラブ	96	三郷北小学校放課後児童クラブ	180
放課後児童クラブ名	入所人数(人)						
三郷小学校放課後児童クラブ	96						
三郷北小学校放課後児童クラブ	180						

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所希望児童の増加に伴い、三郷北小学校放課後児童クラブでは年間を通じて待機児童が発生する状況となったことから、平成29年6月に三郷小学校及び三郷北小学校の全児童の保護者を対象に放課後児童クラブの利用希望についてアンケート調査を実施。本調査の結果を受け、待機児童の解消はもとより、入所対象を6年生まで拡大し、平成30年度より定員数を三郷小学校では100人から160人に、三郷北小学校では180人から240人に増数するため、施設整備工事を実施した。なお、三郷小学校では学校の空き教室1室を改修して保育室を計4室に、三郷北小学校では保育棟の増築により4室を増室し、現行の保育室と合わせ計8室のうち、1室を職員室、1室を児童の休養室として使用することから、保育室は6室で運営する。 (国・県補助事業：国庫補助金額 32,610,000円、県費補助金額 9,222,000円/総事業費：52,870,000円) 日々の通常保育に加え、保育時間の更なる充実を図るため、製作や伝承遊びなどを実施。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①放課後児童クラブ運営	入所人数 ※決算額は運営費	人	226	276	H28 28,792,428 H29 29,475,345
②育成料の減免	減免者数	人	25	30	H28 - H29 -	
③放課後児童クラブ施設整備	保育室数(三郷小学校放課後児童クラブ)	室	3	4	H28 - H29 2,305,498	
		保育室数(三郷北小学校放課後児童クラブ)	室	4	6	H28 - H29 50,564,502

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①放課後児童クラブ下校時の児童の安全確保。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①平成29年度中に増改築工事を行い、平成30年度から各放課後児童クラブの入所対象児童の学年の拡大及び定員数を増数することに伴い、指導員数の確保及びその更なる資質の向上を要する。</p> <p>②夏休み等の長期休暇のみの受入れ及びその対応。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①放課後児童クラブの下校は通常下校より下校時刻が遅いため、限られた安全巡視員数で、きめ細やかな安全確保が必要である。このことから、安全巡視員の増員を図るとともに指導員などにも協力を求める。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①指導員の増員を図ると共に、教員等の豊富な経験を有するコーディネーターを新たに配置し、指導員と管轄部署との連絡調整及び指導方法のアドバイスなどを行うことにより、継続的に指導員の資質の向上を図る。</p> <p>②小学校全児童の保護者に、夏休み中のみの利用について周知する。夏休みの期間については、一時的に入所児童数が増加することが想定されるため、子ども達の安全確保はもとより、一人ひとりが有意義な時間を過ごせるよう、1日の過ごし方を一定のスケジュール管理のもと、工夫する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・平成30年度からの放課後児童クラブの事業拡充に伴い、指導員の増数及びその質の更なる向上も必須となる。このことから、これまで以上に子ども達に目を配り、安全確保に努めることはもとより、年齢層に応じた充実した時間を提供することにより、保護者の安心と信頼を得るため、運営内容の充実及び指導員の質の更なる向上を図る。</p> <p>・平成30年度からの放課後児童クラブ管轄部署の変更に伴い、関係部署及び各機関との情報共有等、きめ細やかな連携を強化する。また、町政の主要施策でもある「子育て支援」の充実を図るため、今後も入所児童保護者の子育てにかかる負担を出来得る限り軽減できるよう、都度、諸対策を検討していく。</p>		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑫生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 ・知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制度の構築を図ります。 ・各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができるよう、多様な分野での学習活動の場を提供する。 ○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に伴い、活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 ○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き、住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○学習基盤の整備 社会情勢や住民ニーズを取り入れ、時代に沿った学習内容とする。						
	○各種学級の運営状況						
	学級名	目的	事業内容	平成28年度		平成29年度	
				学級生数	開催回数	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	家庭教育の重要性や役割を認識し、子育てやそのあり方について学びつつ保護者同士のネットワーク機能を充実させるとともに、自らを振り返り、様々なことを学習する場を提供することで、安定した明るい家庭づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康学習(ヨガ・フラ) ・創作(袱紗・アロマクラフト・リース) ・教養講座(お片づけ・マナー・子育て)等 	31人	10回	32人	10回
	長寿学級	熟年者として、時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を探求し、自主的・意欲的な学習活動を通じて、生き甲斐を感得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会見学 ・健康体操 ・陶芸教室 ・音楽鑑賞 ・講演等 	105人	11回	78人	11回
	くれない学級	教養を高め、自主的・意欲的な学習活動を行い、女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽鑑賞 ・歩く会(橿原市今井町散策) ・創作 ・社会見学 ・講演等 	46人	11回	52人	11回
歴史教養講座	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習4回(建仁寺等) ・講義6回(「仏像とは何か」等) 	86人	13回	55人	13回	
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ、知識を深めるとともに町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習3回(兵庫県加古川市等) ・講義7回(立命館大 藤原享和先生等) 	81人	14回	78人	14回	
※5学級合同学習会：7月8日(土)「人権学習会」、10月28日(土)「教育講演会」、2月17日(土)「健康福祉学習会」を開催。							

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習学級として、「家庭教育学級」「長寿学級」「くれない学級」「歴史教養講座」「みさと万葉学習会」の5学級を開催。【成果指標①】 各学級の運営は各運営委員会により事業内容等を検討するなど、学級の自主的な運営を実施。 学習内容について、希望の講義や課題の把握のため、学級受講者にアンケートを実施した。 <p>○地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級の講師には、文化教室や各施設のボランティア団体等を活用し、地域の活性化を図るとともに、町外の講師も招き、内容の充実にも努めた。また、奈良県登録の講師や他機関の人材も活用した。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①生涯学習学級		登録者数	人	349	295

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①生涯学習の各学級は、受講者には人気があることから例年同内容で継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確に捉えながら内容の刷新を図ることが必要である。</p> <p>②各学級生の高齢化や学級の地区役員が担当する地区の広さから、役員にこれまでと同様の役割や負担を求めることが難しくなっている。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①学級生の全体の人数が減少している。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①学級や講座の開催については、アンケート等で学級生のニーズ等の把握に努めており、その結果も踏まえて、現行の体制(5学級制、自主運営、学習内容)で継続実施。ただし、それぞれの学級で毎年同じ内容の学習を繰り返すのではなく、新しいテーマや分野に積極的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>②「各学級生による自主運営」という原則から逸脱しない範囲で事務局も協力し、学級役員の負担軽減を図る。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①広報の方法等を工夫し、生涯学習の学級開催について幅広く周知していく。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民が主体的に学習できる学級運営を行う。 地域の社会資源を掘り起こし活用する。 社会の変化に合った学習内容とする。 学級で学んだことを今後も活かしていけるよう、学級生にボランティアバンクへの登録を斡旋する。

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬青少年の健全育成	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・児童・生徒の健全育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体の緊密な協力により、広く町民の総意を結集し、次代を担う青少年の育成を図る。 ①ふれあいのつどい ・活力と創造性に満ちた青少年を育成するとともに、家族・地域社会等のふれあいを築くことを目的に開催する。 ②教育講演会 ・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。 ③問題行動等防止 ・巡回指導の実施及び関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。 ○成人式 新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 ①指導推進部会 幼保小中高の子ども達の様子や長期休業期間の生活の様子などについて学期毎に意見交換を行い、情報を共有し、各学校園において児童生徒等の指導に当たった。また、情報を共有することにより、学校のみならず、町全体の問題として地域の理解が深められ、学校、保護者、地域、関係機関等の連携強化を図った。 ②調査研究部会 本年度は「インターネット」をテーマに講演会を開催。スマートフォンの普及により子どもたちとインターネット・SNSとの距離が近くなっていることから、犯罪などに巻き込まれる事案が多発していることに伴い、大人がその実状を把握し、対策を講じるために、家庭・学校・地域や関係機関が一体となって取り組むことの必要性を学んだ。 期日 平成30年2月23日(金) 場所 文化センター 音楽室 講師 なら情報セキュリティ総合研究所理事長 帝塚山大学教授 日置 慎治氏 演題 「インターネット社会の現状と対策」 参加人数 31人 ③啓発促進部会 町民会議の各種事業に係るポスターの作成や広報、また「子ども・若者支援強調月間」のポスター募集等の啓発活動を展開した。 ④地域活動部会 「ふれあいのつどい」開催に係る内容・役割分担等、関係機関と協議及び連携し、事業を実施した。 ⑤関係機関との連携 「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人権連絡会」と連携を図り、幼児・児童・生徒が置かれている現状を共通認識し、青少年の育成を図った。 ○教育講演会 期日 平成29年10月28日(土) 場所 文化ホール 講師 金関 環氏 演題 音楽を通じた青少年育成に関するお話「秋の星空投影&ファミリーコンサート」 参加人数 223人 ○ふれあいのつどい ・参加家族全員で野外炊飯・味覚狩り・ゲーム等を楽しみながら、子ども同士・保護者同士のつながりを築くことができた。 期日 平成29年11月23日(木・祝) 場所 農業公園信貴山のどか村 参加人数 小学生 54人・5歳児 13人・5歳児未満 9人・保護者 58人 合計 134人 ○問題行動等防止 ・巡回補導(生駒郡4町合同で実施) 実施日:平成29年11月11日(土) ・巡視活動 関係機関の協力のもと、学校の長期休業期間に公用車による町内巡視(13回)を実施。 (巡視時間 20時~22時) 実施日:夏休み期間 7月25日(火) 27日(木) 8月1日(火) 3日(木) 8日(火) 17日(木) 22日(火) 24日(木) 29日(火) 春休み期間 3月27日(火) 28日(水) 29日(木) 30日(金) ○成人式 ・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターにおいて実施。 期日:平成30年1月7日(日) 参加人数:148人(参加率66.4%)
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>○青少年育成三郷町民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の問題行動について定例会推連絡会議や、突発的な事案に対し町行政と教員・家庭・地域の間で緊急協議を実施。青少年の真の問題点の把握・分析を行い、各関係機関と密接な連携を図ることで、各部会の活動を計画どおり実施し、青少年の育成を図った。 <p>○ふれあいのつどい</p> <p>期日：平成29年11月23日（木・祝） 参加人数：134人【成果指標①】</p> <p>○教育講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の参加者134人から今年度は223人に増加した。【成果指標②】 <p>○問題行動等防止巡視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13回の夜間巡視活動を行い、信貴山下駅前での花見・役場横高架下でのスケートボード・とっくり湖での釣りを確認したが、問題行動等に遭遇する機会は減少した。今後も引き続き西和警察署と連携し、巡視を継続していく。【成果指標③】 また併せて、三郷町要保護児童対策地域協議会や地域・学校等との連携を図り、問題行動等の指導にもあたる。 <p>○成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者223人のうち参加者が148人で、参加率は前年度71.0%から本年度は66.4%と4.6ポイント減少。今後も引き続き7割以上の参加率の確保に努める。【成果指標④】 <p>※青少年の育成については、単純に分析することは困難であるが、年々、家庭・学校・地域・行政の協働と連携の強化は図られている。今後も早期発見、的確な助言及び指導を通じて問題行動等の未然防止及び問題解決に努める。</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)	
	①ふれあいのつどい	参加人数	人	134	134	H28	780,698
②教育講演会	参加人数	人	134	223	H29	966,095	
③問題行動等防止巡視	巡視回数	回	12	13			
④成人式	参加率	%	71.0	66.4	H28	362,671	
					H29	263,021	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①問題行動等防止巡視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡視において青少年に対する指導を行うが、補導等の権限がないことから警察との連携が必要である。 <p>【新たな課題】</p> <p>①成人式の参加率の低下。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①警察と連携し、昨年度に引き続き所轄の警察署に巡視時の同行を依頼し、問題行動等防止巡視において青少年に対して指導を実施した。 また、例年通り同町民会議委員でもある少年補導員や青少年指導員に、より一層の協力を求めた結果、13回の問題行動等巡視活動に同行の協力を得ることができた。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①新成人向けの新たな趣向を検討し、参加率向上に努める。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・青少年の育成には地域の協力が必要不可欠であることから、今後も関係機関等と連携を密に図りながら取り組む。</p>
--------------	---

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 行政、関係機関・団体等の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・教育を受ける権利を保障されなかった方に、文字などを学習する機会を提供する。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な課題として捉え、人権確立を図る。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・木曜日の午後3時より学級を実施しているが、唯一の学級生が高齢と健康上の理由により成28年7月以降休講。 登録者数：1人 学習内容：文字の練習、数字の計算等 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・「外見からはわかりにくい障がいについて」をテーマとして、15会場で開催。 DVD「秋桜（コスモス）の咲く日」を視聴し、講師の実践を基にした取組みを聞き、意見交換を行った。地域や家庭でどのような方法でコミュニケーションを取ればお互いに理解できるか、また、今まで気づかなかったことや疑問が出され、講師とともに考えを深めることができた。 延べ参加人数：579人 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・3回の講演と2回の現地学習を実施。 【講演】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日：平成29年7月18日（火） 場所：図書館 視聴覚室 講師：上牧町立上牧小学校 校長 上山 準大氏 演題：「これからの人権教育 ～個別の課題を中心に～」 (2回目) 期日：平成29年8月22日（火） 場所：図書館 視聴覚室 講師：奈良県立西和養護学校 教頭 中村 美和氏 演題：「外見からはわかりにくい障がいについて」 (3回目) 期日：平成29年9月14日（木） 場所：図書館 視聴覚室 講師：NPO法人きららの木 田崎 智咲斗氏 演題：「性的マイノリティーについて ～多様な性を考える～」 【現地学習】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日：平成29年10月13日（金） 場所：生駒市・東大阪市 内容：「多文化共生のまちづくり」フィールドワーク他 (2回目) 期日：平成29年11月8日（水） 場所：箕面市 内容：「箕面市北芝のまちづくり」 延べ参加人数：427人 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図り、「第29回人権を確かめあう日 県内一斉集会」、「差別をなくす町民集会」などの人権に関わる事業を開催。 ・随時人権相談に応じるとともに、三郷町要保護児童対策地域協議会などとも連携を図り、諸問題の解決にあたった。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○識字学級 ・週2回を基本とし、受講者の体調も考慮し、夏・冬・春休みを設けることも検討したが、受講者が高齢と健康上の理由により欠席しているため、現在休講中。【成果指標①】</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・今年度も500名を超える参加者があった。今年度も本町における身近な人権問題をテーマに掲げ、住民の方々に学習の場を提供することができた。【成果指標②】</p> <p>○人権問題学習セミナー ・今年も「いのち」「絆」「まちづくり」といった様々なテーマを取り上げ、人権問題に係る講演・学習を行った。参加者は、前年度に比べ増加した。【成果指標③】</p> <p>○人権に関する相談や対応 ・関係機関と連携を図りながら対応できる体制で臨んだ。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①識字学級	実施回数	回	19	0	H28 0 H29 0
②人権教育地区別懇談会	参加者数	人	551	579	H28 396,424 H29 208,760	
③人権問題学習セミナー	参加者数	人	360	427	H28 411,180 H29 368,500	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、ここ数年、一定の参加者はあるものの、大部分の地域で参加者の固定化、高齢化といった課題を抱えている。</p> <p>②人権教育地区別懇談会を15会場において自治連合会等单位で実施しているが、それぞれの地域住民の世代構成の違い等が顕著になってきていることから、幅広い世代に対応できる共通テーマの検討が必要である。</p> <p>③識字学級の休講。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①平成28年度に制定された人権三法（部落差別解消法・障害者差別解消推進法・ヘイトスピーチ解消推進法）の啓発方法。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、参加者のニーズを十分把握するとともに、実施に当たっては各自治（連合）会長と綿密な連携を図りながら協力して進めていく。</p> <p>②人権教育地区別懇談会について、開催時に実施している参加者のアンケートや総括会議等での意見も参考にしながら、計画立案していく。</p> <p>③識字学級の唯一の学級生が、高齢と健康上の理由により欠席のため、再開の目処がたっていない。今後も識字学級の新規入級者の募集に努める。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①平成30年度の人権問題学習セミナーにおいて、「人権三法」を第1回目の講演のテーマとし、啓発に努める。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・人権は誰もが持っている普遍的な権利であり、人権が尊重される地域社会を目指すため、情報や学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。</p>

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑮文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 ・施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 ・施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○グループ活動の支援 ・自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種講座の開設 ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施。 ○指定管理者制度の活用 ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、公益財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定する。それにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

No.	講座名	内 容	延べ受講者数 [単位/人]	
			平成28年度	平成29年度
			○文化講座・健康講座	
1	布あそびと着物リフォーム	家にある和布を用いて、服のリフォームや、小物、季節物も制作します。	81	139
2	声楽教室	発声練習と親しみやすい日本歌曲を歌います。	127	90
3	歌謡教室	ヴォイス初歩からマイクテクニック～プロテクニックまで楽しくレッスンします。	年2回開講 196	/
4	絵手紙教室	季節の草花や身近な小物を描きます。一言添えて素敵なお便りを届けましょう。	85	/
5	はじめての英会話	基礎から簡単な日常会話まで楽しくレッスンします。	115	155
6	はじめての中国語	中国語の発音を正しく身につけて、日常会話を習得します。	94	79
7	ストレッチフラダンス(女性専科)	自然賛歌を全身で表現、心と体を癒します。	60	69
8	詩吟入門	教範に基づいて初心者向けに基礎から吟詠します。	23	/
9	寄せ植え教室	初心者の園芸のコツと、四季に応じた寄せ植えを実習します。	67	122
10	お手軽クッキング(男子専科)	料理、始めてみませんか？作る楽しさ、味わいます。	43	44
11	はじめての箏曲	初心者対象。和楽器の音色による「音のリハビリ」で癒し効果を体感します。	49	/
12	子どもICT講座	プログラミングアプリ「スクラッチ」を使い、ゲームを作りながら楽しく学びます。	111	53
13	囲碁入門	囲碁の打ち方、ルールおよび、歴史や文芸も学びます。	59	/
14	ツボ療法	からだの不調の原因はツボに表れます。ツボを知れば自分の体調管理ができます。	133	123
15	入門太極拳	「入門太極拳」の8つの動作を学びます。	119	76
16	ゆる体操初級	固まった身体をゆるりとほぐして血行を促します。	70	66
17	ウクレレ教室	初心者対象。ウクレレで弾き語りができるよう練習します。	36	35
18	四季を描く水彩画	花・果物・野菜をデッサンから着彩し、仕上げます。	39	94
19	ペン字・筆ペンレッスン	季節のお便りや慶弔の表書きなど日常生活に必ず役立ちます。	年2回開講 231	年1回開講 73
20	イタリアンクッキング	パスタ・ニョッキ・肉・魚料理やドルチェを楽しくクッキング！	50	49
21	ハングル入門	読み書きを中心に、会話も取り入れながら学びます。	93	73
22	楽しいお琴教室 和音Ⅰ	会派、レベルに関係なく、椅子に座って学びます。	/	22
23	折り紙教室	季節に応じたブローチ、小物(箱等)、くす玉等を仕上げます。	/	73
24	ちぎり絵教室	手先を使ってちぎりながら、手漉きの和紙を色紙に貼りつけます。	/	39
25	アクリル(油彩) 絵画教室	芸術で自分を表現する「コツ」を知り、楽しく自分の可能性に挑戦します。	/	29
26	整理・収納入門	片付けが苦手な人もそうでない人も、「コツ」を知り、快適空間づくりを実践します。	/	103
27	江戸浄瑠璃清元教室	三味線の音色に合わせて唄い、伝統芸能を体験、再認識します。	/	18
28	着付け入門	浴衣から外出着まで、初歩から紐のみで着付けを学びます。	/	72
29	俳句教室	三郷町の豊かな自然の中で季節(季語)にふれ、俳句を楽しみます。	/	56
30	川柳教室	川柳を通して、脳トレと感性を磨きます。	/	44
合 計			1,881	1,796
○文化センター利用率				
		平成28年度	平成29年度	
・文化ホール		13.2%	17.6%	
・展示ホール・ロビー		29.0%	26.4%	
・会議室・研修室・音楽室		39.9%	38.3%	
・創作室・和室・茶室・視聴覚室		23.7%	22.1%	
・その他(リハーサル室ほか)		35.9%	34.3%	
	合 計	30.9%	29.6%	
○文化センター改修(主な改修)				
・文化センター排煙ダンパー取替	486,000円			
・文化センター配電機器取替	1,464,622円			
・文化センター会議机購入	302,400円			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化講座・健康講座 ・平成29年度は、新規の8講座を加え受講者の募集を行い、25講座を開講。講座数は、平成28年度から2講座増となったものの、延べ受講者数は平成28年度の1,881名から1,796名となり、前年度に比べ85名の減となった。当講座には、町内の文化・健康活動団体に対する会員の増強の目的もあることから単純に受講者数で成果を判断することは難しいものの、4年連続で減少となっている。このことから、例年アンケート調査を行い、受講者のニーズ把握はしているが、アンケート結果やニーズをどのように講座に取り入れていくか等、受講者の募集方法も含めて、受講者確保の方法を検討する必要がある。【成果指標①】</p> <p>○文化センター利用状況 ・利用者数の把握が難しい施設もあることから、利用率(年間:各施設利用日数÷開館日数)により評価を行う。平成28年度と比較すると、施設により増減のパラツキがあるものの、全館の利用率としては前年度に比べ多少の減ではあるが、ほぼ同率となった。【成果指標②】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①文化教室※		参加者数	人	1881	1796
②文化センター(決算額は指定管理委託料)		利用率	%	30.8	29.6	H28 37,436,480 H29 38,018,392

※各教室開催経費は指定管理委託料に含まれている。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理 ・経年劣化による不具合や故障が頻発しており、計画的に改修する必要がある。</p> <p>②文化教室の受講生の減少。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①施設管理経費(特に電気代)の増加。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①施設の修繕については、緊急性を勘案しながら計画的に改修する。</p> <p>②文化教室の生徒募集を行ったものの応募人数の不足による未開講が多いことから、アンケート結果やニーズを反映した講座内容にするため、諸々精査する必要がある。また、講義内容等については、講師に全面的に委任するのではなく、共に内容をコーディネートできる職員の確保が必要である。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①文化センターの電気代を抑制するため、電気調達事業者を変更したことで一定の削減は図れた。今後は、計画的に照明のLED化を行っていく必要がある。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・指定管理業務委託による一定の成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により、住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。</p> <p>・教室で学んだことを各方面で活かしていけるよう、受講生に対しボランティアバンクへの登録を斡旋する。</p>

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑯文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・文化活動団体について、地域の文化活動を支える方たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持ちながら、会員の輪を広げていきます。 ・今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを構築する。 ○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各種団体の活動及び運営に要する経費の一部を補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。 ①三郷町文化協会 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会 ③三郷町子ども会連合会 ④三郷町民文化祭実行委員会 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会 ⑥三郷町国民文化祭実行委員会（平成29年度のみ）
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○生涯学習の指導者等の活用支援 ・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師等の選定に際し、地域の団体・個人と連携を図ることにより講師依頼はもとより、新たな指導者の掘り起こしができた。 ①家庭教育学級 8回（健康学習2回、創作3回、教養講座3回） ②長寿学級 4回（健康体操、陶芸教室、音楽鑑賞2回） ③くれない学級 3回（健康体操、創作2回） ④つながり学級〈三郷町子ども人権学習支援事業〉 7回（軽スポーツ、ものづくり体験、料理教室、風作り・風揚げ体験、ものづくり体験、お茶体験） ○団体への助成 ①三郷町文化協会（補助金額：614,855円） 主な事業：総会、文化協会まつり、人権学習会及び随時役員会を開催。 第49回三郷町民文化祭の運営協力をはじめ、各種研修会等を開催し、会員の知識の向上を図った。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会（補助金額：200,000円） 主な事業：総会、環境学習等の学習会、町の各事業への参加。また、老人福祉施設へのボランティアを実施。 ③三郷町子ども会連合会（補助金額：268,900円） 主な事業：総会や子ども会の日（8月8日（火））にプール遊び等を実施。その他、リーダー研修会、まぜこじりの会、どろんこあそびの会等を開催。 ④三郷町民文化祭実行委員会（補助金額：1,158,834円） 主な事業：展示・発表を合わせて74団体の参加のもと「第49回三郷町民文化祭」を10月28日（土）、29日（日）に、フリーマーケット、移動動物園等を併せて開催。展示会場には悪天候の中、2日間で1,833名の来場者があった。 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会（補助金額：329,267円） 主な事業：「第30回三郷町芸術祭美術展」を9月7日（木）～9月10日（日）に開催。204点の作品が展示され、開催期間中1,063人の来場者があった。また30周年記念として審査員による大型作品、過去5年の金賞作品の展示を開催。 ⑥三郷町国民文化祭実行委員会（補助金額：1,153,666円） 主な事業：「第32回国民文化祭・なら2017」分野別フェスティバル「風音祭」を9月30日（土）に開催。646名の来場者があった。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を行う機会において、地域の指導者の協力を得て実施することで、より活発な活動ができた。 ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し、活性化を図った。【成果指標①】 ○三郷町民文化祭実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年10月28日(土)・29日(日)に三郷町文化祭を実施。三郷町民の積極的な参加を促し、展示・発表を合わせて74団体の参加があった。【成果指標②】 ○三郷町芸術祭美術展実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月7日(木)～10日(日)に第30回三郷町芸術祭美術展を開催し、町内外からの204点の作品の出展のもと盛況に開催。また第30回記念として特別展示を開催し、町内外ともに本美術展の知名度を高めた。【成果指標③】 ○三郷町国民文化祭実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・「第32回国民文化祭・なら2017」分野別フェスティバル「風音祭」を9月30日(土)に開催し、646名の来場者があった。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)	
	①各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)		会員数	人	1,130	1,116	H28
H29							1,083,755
②三郷町民文化祭実行委員会		参加団体数	団体	78	74	H28	1,402,345
						H29	1,158,834
③三郷町芸術祭美術展実行委員会		来場者数	人	1,000	1,063	H28	354,737
						H29	329,267

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の事業実施に際し、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数を増加し、組織力を強化する必要がある。 ③三郷町には文化活動推進を目的とする補助団体として、公益財団法人三郷町文化振興財団・三郷町文化協会・三郷町芸術祭美術展実行委員会・三郷町民文化祭実行委員会の4団体がある。これまで、それぞれの団体が独自で活動を続けてきた経緯があるが、現状ではどの団体においても会員や入場者数を確保することに苦慮しており、今後活動を連携していく必要がある。 ④文化祭実行委員会・芸術祭美術展実行委員会ともに実行委員の高齢化が進んでおり、イベントの開催に伴う準備等が体力的にも困難になっている。 ⑤三郷町民文化祭の運営に係る人材不足。 <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化センターで行っている文化教室などと情報交換を行い、地域の人材を把握できる体制を構築。 ②地域婦人団体連絡協議会の会員募集を引き続き広報をはじめ、いろいろなツールを活用して周知するとともに、暮らしの場に元気を生み出す(住民が相互に支えあい分かち合う精神を大切に)活動など、会員の広がりにつながる活動を工夫する必要がある。 ③イベントの共同開催や、他団体の教室や研修会に積極的に参加をし、相互の団体の活性化を図る。 ④イベント開催の準備に伴う作業は、担当課等の職員でフォローするとともに、今後会員の若返りを図る。 ⑤関係機関に人的な協力を依頼する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘により、様々な学習活動の支援を得るとともに、指導者の育成及び支援を合わせて行う。 ・現在活動をされている団体・個人に対する継続支援。 		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑪図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○資料・情報の提供 図書、雑誌、新聞をはじめ、CD・DVDなどの音響・映像資料を含む各種の図書館資料を幅広く収集して子どもから高齢者まで様々な年齢層の求める資料を迅速かつ的確に提供する。また、館内のインターネットアクセス端末によりネット情報の提供を行う。 ○子どもの読書の推進 絵本や児童図書の利用の促進(季節やテーマに沿った<絵本の面展示>(表紙の展示)の実施、小中学生向け調べもの学習資料の充実)とともに、乳幼児向け(ブックスタート、ゆりかごおはなし会)、児童生徒向け(おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏・冬のつどい、本の森探検隊)などの年齢層に合わせた各種行事を継続して行うことにより、子どもの読書推進を図る。 ○生涯学習事業の推進 映画上映会(毎週土曜日)、各種講演会や演奏会を実施して、人々が集い交流する生涯学習の場を提供する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○平成29年度統計			
		平成28年度	平成29年度	
	蔵書冊数	250,260冊	252,400冊	
	入館者数	204,621人	203,440人	
	貸出人数	87,880人	92,567人	
	貸出冊数	271,226冊	281,454冊	
	ネット予約人数	5,226人	6,315人	
	ネット延長人数	5,874人	6,481人	
	HPアクセス数	65,614回	72,726回	
	読書通帳(新規登録数)	1,686冊	1,017冊	
	○図書館行事			
	行事名	概要	参加人数(人)	
			平成28年度	平成29年度
	ブックスタート	11ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘う取組み	127	125
	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	125	76
	おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	1,069	700
	土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせやストーリーテリング	98	155
	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	80	65
	映画上映会	名作映画の上映会	2,505	2,455
	映画上映会(児童)	子ども向け映画の上映会	—	385
	本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親むイベント	98	74
	フロアーコンサート	図書館の開架室でギターマンドリンコンサート	224	242
	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるイベント	33	24
	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	28	38
	大正琴コンサート	大正琴のグループによる演奏会	209	—
	ギター・コンサート	ギターのグループによる演奏会	56	38
	冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	98	110
	小学生夏休み実験室	小学生を対象とした科学実験教室	—	18
	日本画展	町内在住の画家による日本画の展示会	—	240
	ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	863	1,017
	ぬいぐるみのとしょかんおとまり会	子ども達から預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント	14	15
	ナースのたまごと健康体操	信貴山看護学校生徒による健康体操及び、健康にまつわるお芝居	—	12
	童謡コンサート	図書館開館20周年に伴う記念コンサート	119	179
	歌の春コンサート	町内コーラス団体による演奏会	—	54
		計	5,746	6,022
	○祝日開館の延長 祝日は通常17時までの開館であるが、土曜日と重なった場合は、閉館時間の混乱を避けるため19時まで開館。			
	○リクエスト・相互貸借サービス 図書館で所蔵していない図書の申込みに対して、購入もしくは近隣図書館からの貸借を行い、提供している。近隣の図書館と提携することで、既に絶版の本や長編シリーズなど、購入できない図書を迅速に提供する。また、町民が県立図書情報館で借りた図書を当館のカウンターで、返却できるサービスを実施している。			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○資料・情報の提供 前年度からの祝日開館の実施や利用者のニーズに沿った資料を提供したことで、前年度比で貸出冊数が10,228冊(3.8%)増加し、貸出人数も4,687人(5.1%)の増加となった。ネットでの予約件数も年々増加している。【成果指標①】</p> <p>○子どもの読書推進 乳幼児向け、児童生徒向けなど年齢層にあわせた各種事業を実施。参加者数については、ブックスタートは前年度とほぼ同数であったが、おはなし会とゆりかごおはなし会が減少した。特に、おはなし会の参加者の減少については、子ども達の興味をひくことができなかつたことが要因と考えられることから、読み聞かせの内容を検証し、子ども達が何度も来なくなるおはなし会を目指す。また、本館が実施する子ども向けイベント相互間において参加を呼びかけるなど、周知方法を工夫する。【成果指標②】</p> <p>○生涯学習の推進 昨年度に比べ、全体の参加者数は増加。今後はブックリサイクルの開催数の増加など、既存のイベントを強化しつつ、町内ボランティア団体などの協力のもと、新たなイベントを開催することで、普段図書館を利用しない方の来館を促進し、客層の幅を広げることにより入館者の増加を図る。【成果指標③】</p>
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
②成果指標	①資料情報の提供	図書・雑誌・CD・DVD等購入数	冊(枚)	7,481	6,996	H28 10,855,216
						H29 10,736,815
	②子どもの読書推進	参加者数	人	1,773	1,723	H28 91,368 H29 99,846
	③おとなの読書推進	参加者数	人	4,086	4,299	H28 60,000 H29 30,000

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①開架室の閲覧席における長時間自習の対策を検討。 ②ホームページの改善。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①貸出冊数が増加する一方で入館者数が減少した。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①現在、生涯学習室の1室を学習室として開放しているが、相席を嫌がる人などは学習室を利用せず、開架室で自習するケースが目立ち、学生等が学習のため長時間、机を占有することで、座って読書したい利用者の迷惑となっている。このことから、今後は相席を一人席とするとともに、生涯学習室に加え、第一会議室も学習室として開放して学習支援を行うことにより、学生と一般利用者双方が静かな環境で、それぞれの目的に応じた利用が出来る環境をつくる。</p> <p>②利用者の要望に伴い、HPを改善した。 (1) 図書の表示を「新作(発売1ヶ月)」と「新着(受入1ヶ月)」に分けた。 (2) HP上で複数の予約が可能になった。 (3) スマートフォンでの閲覧の際、レイアウトがスマホ用に最適化されるようになったことで、利便性が上がった。 以上の改善により、閲覧数及び予約数が増加した。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①ネットによる貸し出し予約及び延長は、その利便性から今後も利用者が増えていくことが予想される一方で、来館回数の減少など、入館者数に影響を与えている。このことから、入館者を増やすには、参加しやすく楽しいイベントを増やすことが必要であるため、平成29年度から試験的に始めた「子ども上映会」を家族で参加しやすい祝日に定期的に開催することや「童謡のまち」らしい童謡関連のイベントを実施することにより、入館者の増加を図る。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・「三郷町まちづくり総合戦略」の目標達成に向け、町民への資料情報の提供などの図書館の基本的業務を確実に実施し、様々な施策や行事を通じて図書館の魅力をアピールする。また、一人でも多くの人が憩いの場として利用できる図書館の環境づくりを積極的に進める。</p> <p>・利用者の意見を真摯に受け止め、利用者一人ひとりが満足できる図書館となるよう、資料の収集及び提供に努める。また、すべての町民が「生涯利用できる場所」として、小さな子どもから高齢者まで、年代を問わず楽しめる施設とする。</p>		

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。 ・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。 ・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。 ・文化財ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行う。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財について、広く町内外の方々に周知できるよう企画立案する。 ・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有効な活用を図る。 ・龍田古道等の歴史遺産の日本遺産登録。 ○地域の歴史学習の機会の提供等 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、町内には国指定重要文化財3件、県指定文化財1件、町指定文化財10件(16点)、国登録文化財1件がある。 ・それぞれの文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り適切に対応した。 ・遍照院シダレザクラ(町指定)の樹木消毒にかかる維持管理経費の一部助成を実施。 ・八幡神社本殿(国指定)の茅葺が獣害により修繕が必要となったため、修繕費の一部助成を実施。 ・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視及び適宜適切な保護を実施。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県の文化資源活用補助金を活用し、三室山遊歩道展望台に三郷町・柏原市全域の龍田古道の解説案内板を設置することで、龍田古道のPRを実施。 ・地域に関する歴史の研究グループ「史学さんごう」との共催で、11月12日(日)に文化講演会「聖徳太子と竜田道」(講師:柏原市歴史資料館館長 安村俊史氏)を開催。 ・町にまつわる万葉歌の啓発グループ「みさと万葉歌プロジェクト」との共催で、3月2日(金)に文化講演会「龍田道の丘辺の道」(講師:奈良県立万葉文化館指導研究員 井上さやか氏)を開催。 ・文化協会主催で2月4日(日)に文化協会講演会「風の神様といのち～創記2100年の時の流れと重み～」(講師:龍田大社宮司 上田安徳氏)を開催。 ・三郷小学校、三郷北小学校児童の文化センター郷土資料室見学に際し、「史学さんごう」の協力のもと児童に農具や古民具について説明した。 ・龍田古道等の日本遺産登録を目指し、柏原市と共同で「大和と河内を結ぶ道」というテーマでストーリーを作成する。 ○文化・歴史学習の機会 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級のひとつとして「歴史教養講座」を本年度も開講し、身近な歴史等を学ぶ機会を提供。また、三郷町にまつわる万葉歌が多く詠われていることから、万葉歌人の感性や歴史的な背景を学ぶため、「みさと万葉学習会」を開講。 ○埋蔵文化財 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の三郷中央公園多目的広場建設の際に、約15,000年前の石器のアトリエ跡である「勢野東遺跡」が発掘されたことに伴い、平成23年度より9カ年計画で、勢野東遺跡発掘調査報告書の作成業務を奈良県に委託している。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化財の保護・啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の新たな補助金制度を活用して、指定文化財の維持管理に伴う経費を効率よく助成することができた。また、町内の文化財の定期的な巡視により、文化財の保護を適切に実施。【成果指標①】 ・三室山遊歩道展望台に龍田古道の解説案内板を設置したことにより、来訪者に三郷町と柏原市の歴史背景を詳しく伝えることが可能となった。【成果指標②】 ・奈良県に委託している「勢野東発掘調査報告書」の作成が、完了予定であった平成29年度から平成31年度まで延長されたことに伴い、平成29年度予算は執行されなかった。【成果指標③】 ・文化財保護週間に合わせ、教育委員会と住民団体である「史学さんごう」の共催で「史学さんごう文化講演会」を行い、好評を得ている。【成果指標④】 ・教育委員会と住民団体である「みさと万葉プロジェクト」の共催で「みさと万葉文化講演会」を行い、大好評である。【成果指標⑤】 <p>○学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史教養講座」は55人、「みさと万葉学習会」は78人の登録があり、1年を通じて歴史文化に親しんだ。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)	
						H28	H29
②成果指標	①指定文化財等の保全	文化財の保全	件	1	2	42,500	75,360
	②文化財説明板の設置	歌碑・説明看板の設置	件	3	1	760,920	217,350
	③勢野東遺跡発掘調査報告書作成業務	調査・製本業務	—	—	—	180,000	0
	④史学さんごう文化講演会	参加人数	人	400	180		
	⑤みさと万葉プロジェクト文化講演会	参加人数	人	350	180		

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①指定文化財に修理等の必要が生じた場合、所有者の負担に対して国・県・町の各補助制度があるが、現状は所有者の負担が大きくなっている。指定文化財を維持していくには長期間にわたる所有者の理解と協力が必要なことから、所有者の負担を極力軽減する施策の検討が必要である。</p> <p>②国の観光施策の活性化に伴い、奈良県も県下の歴史・文化財を活かした事業を多く打ち出しており、町の業務量も増加している。また、三郷町においても隣接する柏原市と連携し、龍田古道の日本遺産登録を目指していることから、観光事業や開発事業をはじめ、文化財を所有する社寺等と長期的かつ専門的な保存計画を立てるためにも、専門技師の確保が必要である。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化財の所有者と教育委員会で定期的に意見交換を行い、現状確認を行う。また、所有者負担が過剰にならないよう、国・県に対して補助を要望するとともに、町の補助制度の拡充及び見直しも検討する。</p> <p>②文化財や観光に関わる業務体制の拡充及び長期的に町内の文化財を管理、研究できる専任職員の配置を検討する。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を観光資源の一つとし、既設案内看板等の補修及び新設を行い、事業の活性化を図る。 ・住民団体を活用し、定期的な文化財の調査から講演会等の啓発イベント等、一貫した協力体制を構築する。 ・国や県、他市町村の関係機関と情報交換を行い、連携強化を図る。 ・専門的な立場と知識を持った職員を確保し、他の関係部局の業務のサポートを含め、三郷町の歴史や文化財の学術的な保存・活用に係る事業を展開する。 ・「龍田古道」等、町内文化資源等の日本遺産登録を目指し、各種事業を展開する。 	

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑱生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらえるように、各種軽スポーツ等を実施する。 ○総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」が自立して運営できるよう支援を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ol style="list-style-type: none"> ①町民体育祭の開催 地域住民がイベントを通じてスポーツに親しみ、町民の輪を広げることをテーマに、三郷町スポーツ少年団や他の各種団体の協力のもと、三郷町体育協会主催で第47回町民体育祭(於:竜田運動公園)を10月8日(日)に開催した。 ②野球審判講習会 盛んなスポーツのひとつである野球の試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正にも逐時対応するため、4月9日(日)に審判講習会を開催した。 ③関係団体に補助金の助成 【三郷町体育協会】補助金額 2,261,997円 三郷町体育協会発足50周年記念事業として、6月18日(日)に「三郷町体育協会50周年記念式典」、11月12日(日)に「マラソンソフトボール大会」をそれぞれ開催した。 【三郷町スポーツ少年団】補助金額 876,575円 ④三郷町スポーツ推進委員 スポーツ振興のため、子ども権学習支援事業などに出向き、住民に対しスポーツの実技指導等を行った。 ⑤軽スポーツ事業 三郷町体育協会主催で9月17日(日)に実施を予定していた「軽スポーツフェスティバル」は、台風接近により中止となったが、11月26日(日)に「軽スポーツ大会」を開催し、軽スポーツの普及に取り組んだ。 ⑥総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スポンサーの確保 1社 ・教室開催場所(グラウンド)の優先確保 ・教室の夜間開催 2教室 92回開催 延べ参加者830名 ・教室の土曜開催 2教室 45回開催 延べ参加者387名 ・夏休みに、小学生向けにジュニアテニス教室3回、ジュニアサッカー教室を10回行い、計138名の参加があった。また、クラブの主な事業となる各種教室については、未就学児向けのキッズダンスや親子リトミック体操、小学生向けジュニアサッカー、ジュニアテニス、一般・シニア世代向けにノルディックウォーキング、太極拳や様々な種類のヨガ教室など、合計29教室を展開。全ての教室における開催回数は延べ1,071回で、参加人数は延べ8,159人。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○関係団体への補助金による助成 ・「三郷町体育協会」及び「三郷町スポーツ少年団」に運営補助金を助成し、組織の育成及び強化を図った。また体育協会50周年記念事業として、6月18日(日)に「三郷町体育協会50周年記念式典」11月12日(日)に「マラソンソフトボール大会」をそれぞれ開催し、スポーツに対する気運を高めた。 【成果指標①②】</p>
	<p>○スポーツの推進及び軽スポーツ事業 ・三郷町体育協会及び三郷町スポーツ少年団等の協力のもと、町の社会体育の最大イベントである第47回町民体育祭を10月8日(日)に開催した。【成果指標③】 ・三郷町スポーツ推進委員が地域に出向き、軽スポーツ等の振興を図った。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ ・土曜日・夜間の教室を開催し、会員数の増加を図った。会員数は前年の251人から275人となっており、順調に会員数を伸ばしている。また教室参加人数も大きく増えている。【成果指標④】</p>

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①三郷町体育協会事業	参加人数	人	2,372	2,645	H28 2,760,300 H29 2,261,997
②三郷町スポーツ少年団事業	参加人数	人	672	305	H28 1,198,585 H29 876,575	
③町民体育祭	競技参加人数	人	中止	3,000	H28 684,681 H29 405,719	
④総合型地域スポーツクラブ事業	教室参加人数	人	6,766	8,159	H28 H29	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①昨今、様々なニュースポーツが発案され行われていることから、本町においてもその種目の取り入れ方法を検討する。また、既存の種目においては競技人口が減少していることから、今後の運営の在り方を検討する必要がある。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブは、クラブ運営にスポーツくじ助成金を平成27年度～平成31年度の5年間受けているが、現在、助成金に頼った運営になっていることから、平成32年度以降の運営が困難になるものと思われる。</p>
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①新しいスポーツ種目については、競技の目的・ルール等を十分把握し、実施市町村等からの情報収集及び分析を行い、地域での普及を図る。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブは、法人化すれば助成金の一部を現行に追加で3年間受けることができるため、法人化するとともに、その後の存続方法を早急に検討しなければならない。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」の新規会員の獲得については、新たな種目の追加をはじめ、健康づくり・介護予防につながる教室の検討や参加費を低く設定した教室等の開催により、クラブ入会に係るPRを積極的に実施。</p> <p>・体育協会加入者やスポーツ少年団指導者等に対し、その経験を活かしたボランティアバンクへの登録を斡旋する。</p>

平成29年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	㊦スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの運営を支援をします。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。 ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うため、スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて指定管理により運営する。
---------	--

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・経年による各施設の維持修繕が必要になっていることから、随時、修繕及び改修を行い、施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 ①竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：テニスコート砂補充、真砂土の入替え、排水溝改修 野球ベース・トイレ・水道管修繕 (決算額：1,916,017円) ②勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：学童軟式野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール 施設整備：真砂土の入替え (決算額：223,020円) ③スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：ランニングマシン修繕 災害関係：ボイラー修繕 (決算額：716,526円) ④ウォーターパーク <ul style="list-style-type: none"> 施設整備：漏水工事、温泉水ろ過ポンプ入替、 災害関係：温泉水ろ過ポンプモーター、重油計、非常放送設備、 スライダ―揚水ポンプ、屋外ピット給排気ファン入替 (決算額：15,058,688円) ⑤中央公園多目的広場 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー等 施設整備：グラウンドの凍結防止工事、野球ベース修繕、防球ネット取付 (決算額：1,435,085円) ○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活かし、効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成25年度から5年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて(株)翔成へ指定管理業務を委託。 (指定管理料 平成25年度から平成29年度まで合計123,592,196円)
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設運営を図った。 ○スポーツ施設の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体力の維持・増進や健康で明るい生活の充実、また、利用者同士の親睦に寄与した。 ・なお、利用者数については、中学校校舎建替に伴う部活動の利用により、健民グラウンド、テニスコート及びスポーツセンター等において大幅に増加した。【成果指標①～⑥】 ○指定管理制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度以降、ウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを活かして、効率的・効果的な施設運営と経費の削減を図った。なお、現行の指定管理業務委託は、平成25年度から平成29年度までの5年間。(平成30年度から平成34年度までの5年間の指定管理も継続的に決定。5年で合計112,417,000円。)
-------------	--

②成果指標	施設名	成果指標名	単位	H28年度	H29年度	決算額(円)
	①健民グラウンド	利用者数	人	34,675	56,923	H28 H29
②テニスコート	利用者数	人	8,860	13,277	H28 H29	
③中央公園多目的広場	利用者数	人	38,113	38,492	H28 H29	
④勢野グラウンド	利用者数	人	4,944	5,246	H28 H29	
⑤スポーツセンター	利用者数	人	85,905	108,764	H28 H29	
⑥ウォーターパーク	利用者数	人	61,495	66,285	H28 H29	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の経年劣化により、不具合や故障が頻繁に発生し維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。 ②グラウンドについては、近隣住民より砂塵の苦情が発生している。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成29年10月22日に発生した台風21号の影響で、スポーツセンター及びウォーターパークが浸水したことにより、ポンプ等が故障し、復旧に多額の費用を要することになったことから、今後の浸水対策を検討する。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修等を行う。 ②グラウンドの砂塵対策については、利用者による散水の徹底に併せて、凍結防止剤等を利用した防塵対策を行う。また、平成30年度に竜田運動公園に防砂ネットを設置する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①今後、各施設が浸水した場合に今回のような故障が起きないように、高い位置に機器を移設する等の対策を講じた。しかしながら、設置箇所を変えることが出来ないポンプ等については、今後、対策の検討を要する。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・住民が望む生涯スポーツを推進するため、国・県等から補助金等の財政的支援をリサーチするとともに、現体育施設の適正な維持管理及び利用者が快適かつ安全に利用できるよう施設整備を行い、利用者増につなげる。</p>		

IV 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者

平成29年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、学識経験者の指導及び助言を受け、報告書に所要の修正を行った。

点検評価有識者：奈良学園大学 副学長 金山 憲正

2. 指導・助言の内容

なお、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言をいただいた。

点検・評価に関する一連の事務が全般にわたり計画的にかつ適切に執行されている。

「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の基本目標を受け、適切な基本施策が講じられていると共に、それぞれの施策に対しPDCAサイクルに沿い、充実した改善活動が実施されている。また、「改善方法・結果」を受け、「今後の計画・方向性」が具体的に示されているため、来年度の「事業概要・目的」が地域住民の方々の願いや社会の変化等を踏まえて、より充実した施策として展開されることが期待できる点検・評価となっている。

20の「点検・評価項目」間で関連する事業内容相互の「事業の課題」「改善方法」を検討し、「今後の計画・方向性」に生かしていくことにより、さらに充実した施策の実施につなげられることを願う。

例えば、「② 教職員研修の充実」と「⑤ 情報・国際教育の推進」の項目では、ハード面（施設・機器の充実）とソフト面（教員がICTのよさが生かされる教材の選択と効果的な活用法）の両面を関連づけて今後の方向性を検討していくことも一つの着眼点であると考えます。

なお、事業の計画・今後の方向性において、20項目のうち12項目が「見直し」にチェックがあり、その内容として「予算拡充」「事業拡大」「手法見直し」に多くのチェックが入っている。これら12項目においては来年度の「事業概要・目的」に前年度の「点検・評価」に基づき改善案として提案されていることを明記しておくことが必要となるであろう。

平成30年8月16日

金山 憲正